

# 松井証券株式会社

(東京証券取引所第1部:8628)

2003年3月期(平成15年3月期)  
決算報告資料

2003年5月6日

# 目次

---

セクション1	決算(連結)の概要	2
セクション2	リテール証券業界の状況	16
セクション3	今後の展開	33
セクション4	各種データ	49

本資料は、2003年3月期決算の業績および今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。また、本資料は2003年5月6日現在のデータに基づいて作成されております。

本資料に記載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。なお、本資料で使用するデータおよび表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。

# 決算(連結)の概要

---

## セクション 1

# 2003年3月期(2002年度)決算の概要

---

Part 1

# 2003年3月期の業績

## 営業収益は134億円で5%増加（前期比）

～営業利益は35億円（19%減）、経常利益は35億円（11%減）、当期利益は14億円（21%減）～

（単位：百万円）

	2002年3月期	2003年3月期	前期比 (増減率)
営業収益	12,785	13,425	5%
受入手数料	10,215	10,240	0%
金融収益	2,549	3,224	27%
金融費用	1,350	1,274	-6%
純営業収益	11,435	12,151	6%
販管費	7,067	8,612	22%
営業利益	4,368	3,540	-19%
経常利益	3,939	3,518	-11%
当期利益	1,870	1,485	-21%

# 純営業収益の内訳

## 受入手数料は102億円で前期と同水準

～信用取引貸付金の増加により、金融収支は19億円で63%増加～

(単位:百万円)

	2002年3月期	2003年3月期	前期比 (増減率)
受入手数料	10,215	10,240	0%
委託手数料	9,543	9,516	-0%
引受・売出手数料	0	27	—
募集・売上の取扱手数料	157	16	-90%
その他	514	680	32%
金融収益(①)	2,549	3,224	27%
トレーディング損益	22	△ 39	-280%
営業収益合計	12,785	13,425	5%
金融費用(②)	1,350	1,274	-6%
純営業収益	11,435	12,151	6%
金融収支(①-②)	1,199	1,950	63%

# 販管費の内訳

販管費は86億円で22%増加（前期比）

～新システムへの移行に伴い「事務費」が増加、「貸倒引当金繰入」も増加～

（単位：百万円）

	2002年3月期	2003年3月期	前期比 (増減率)
取引関係費	1,857	1,635	-12%
広告宣伝費	516	282	-45%
人件費	1,874	1,786	-5%
不動産関係費	799	622	-22%
事務費	964	2,564	166%
減価償却費	1,437	1,578	10%
租税公課	29	25	-15%
貸倒引当金繰入	7	313	4354%
その他	100	88	-11%
販管費合計	7,067	8,612	22%

# 直近4四半期の決算概要

---

Part 2



# 直近4四半期の業績推移

営業収益は31億円で7%減少（直前四半期比）

～営業利益は7億円、経常利益は7億円、当期利益は3億円～

（単位：百万円）

	2003年3月期 1Q(4～6月)	2003年3月期 2Q(7～9月)	2003年3月期 3Q(10～12月)	2003年3月期 4Q(1～3月)	直前四半期比 (増減率)
営業収益	3,493	3,485	3,348	3,100	-7%
受入手数料	2,777	2,588	2,542	2,332	-8%
金融収益	716	905	812	793	-2%
金融費用	245	329	328	372	13%
純営業収益	3,248	3,156	3,020	2,728	-10%
販管費	2,921	1,827	1,875	1,988	6%
営業利益	328	1,328	1,144	739	-35%
経常利益	316	1,331	1,144	726	-37%
当期利益(△損失)	△ 18	605	599	298	-50%

# 純営業収益の内訳

受入手数料は23億円で8%減少（直前四半期比）

～信用取引貸付金の減少により、金融収支は4.2億円で13%減少～

（単位：百万円）

	2003年3月期 1Q(4～6月)	2003年3月期 2Q(7～9月)	2003年3月期 3Q(10～12月)	2003年3月期 4Q(1～3月)	直前四半期比 (増減率)
受入手数料	2,777	2,588	2,542	2,332	-8%
委託手数料	2,617	2,388	2,373	2,138	-10%
引受・売出手数料	3	9	1	14	1496%
募集・売出取扱手数料	13	1	1	1	87%
その他	145	190	167	178	7%
金融収益(①)	716	905	812	793	-2%
トレーディング損益	0	△ 8	△ 5	△ 25	-
営業収益合計	3,493	3,485	3,348	3,100	-7%
金融費用(②)	245	329	328	372	13%
純営業収益	3,248	3,156	3,020	2,728	-10%
金融収支(①-②)	471	576	483	420	-13%

# 販管費の内訳

販管費は20億円で6%増加（直前四半期比）

～信用取引に係る立替金の発生に伴い、「貸倒引当金繰入」が増加～

（単位：百万円）

	2003年3月期 1Q(4～6月)	2003年3月期 2Q(7～9月)	2003年3月期 3Q(10～12月)	2003年3月期 4Q(1～3月)	直前四半期比 (増減率)
取引関係費	429	409	403	394	-2%
広告宣伝費	66	79	72	65	-10%
人件費	480	427	432	448	4%
不動産関係費	285	169	89	80	-10%
事務費	555	659	701	649	-8%
減価償却費	1,123	141	154	161	4%
租税公課	10	7	4	4	22%
貸倒引当金繰入	0	0	75	239	219%
その他	39	16	18	15	-19%
販管費合計	2,921	1,827	1,875	1,988	6%

## 【参考】前年同期(2002年3月期4Q)との比較

### 営業収益は前年同期比12%の減少

～営業利益は15%の増加、経常利益は11%の増加、当期利益は13%の減少～

(単位:百万円)

	2002年3月期 4Q(1~3月)	2003年3月期 4Q(1~3月)	前期比 (増減率)
営業収益	3,505	3,100	-12%
受入手数料	2,734	2,332	-15%
金融収支	338	420	24%
純営業収益	3,070	2,728	-11%
販管費	2,428	1,988	-18%
営業利益	643	739	15%
経常利益	653	726	11%
当期利益	341	298	-13%

# マーケットの状況

---

Part 3

# 個人株式委託売買代金の状況

個人投資家の流動性は株式市場全売買代金の15%（02年度）

～個人株式委託売買代金は4%増加、松井証券株式委託売買代金は1%増加（前期比）～

## 【株式委託売買代金の比較（前期比）】

（単位：兆円）

	1 個人株式委託 売買代金シェア	個人株式委託売買代金 <sup>2</sup>		松井証券株式委託売買代金	
		金額	増減率	金額	増減率
2002年3月期 (01年4月～02年3月)	13%	51.9	4%	5.5	1%
2003年3月期 (02年4月～03年3月)	15%	54.1		5.6	

出典：東証統計資料、JASDAQ統計資料

注1：三市場およびJASDAQの総売買代金に占める個人株式委託売買代金の比率

注2：三市場およびJASDAQの合計額

# 信用取引残高の状況

三市場の平均信用取引残高は、買い残1.2兆円、売り残0.8兆円（02年度）

～三市場の平均買い残が11%減少するなか、松井証券の平均買い残は43%増加（前期比）～

## 【信用取引残高の比較（前期比）】

【買い残高】	松井証券シェア	三市場買い残高 <sup>1</sup> (兆円)		松井証券買い残高 <sup>2</sup> (億円)	
		金額	増減率	金額	増減率
2002年3月期 (01年4月～02年3月)	4.7%	1.3	-11%	633	43%
2003年3月期 (02年4月～03年3月)	7.6%	1.2		905	

【売り残高】	松井証券シェア	三市場売り残高 <sup>1</sup> (兆円)		松井証券売り残高 <sup>2</sup> (億円)	
		金額	増減率	金額	増減率
2002年3月期 (01年4月～02年3月)	2.1%	1.0	-14%	202	7%
2003年3月期 (02年4月～03年3月)	2.6%	0.8		216	

# 【参考】新証券税制への移行に伴う影響

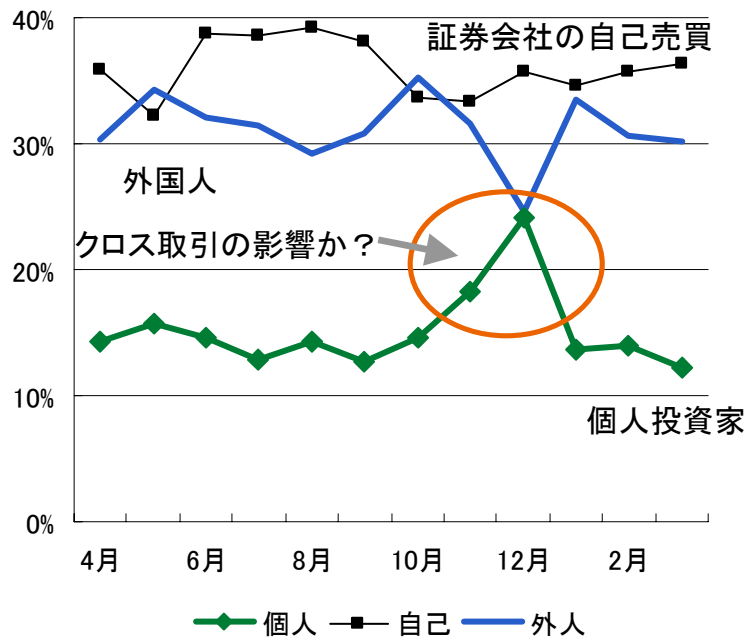
## 新証券税制移行直前の02年11月・12月に個人の売買代金シェアは急上昇

～11月・12月に、取得価格確定のための「クロス取引」が駆け込み的に多数行われたものと推定～

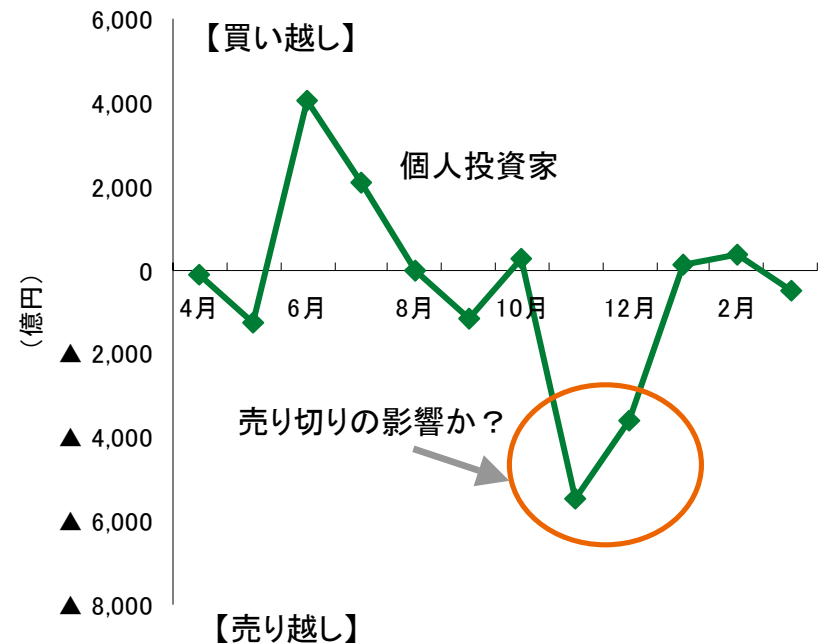
～11月・12月は、個人投資家は売り越しているため、「売り切り」も多かったものと推定～

→03年以降は、従来の水準を少し下回るシェアで推移

◆ 投資部門別株式委託売買代金比率<sup>1</sup>  
(02年～03年)



◆ 個人投資家の株式売買差引額<sup>1</sup>  
(02年～03年)



出典：東証統計資料 注1：三市場



# リテール証券業界の状況

---

## セクション 2

# リテール株式委託取引

---

Part 1

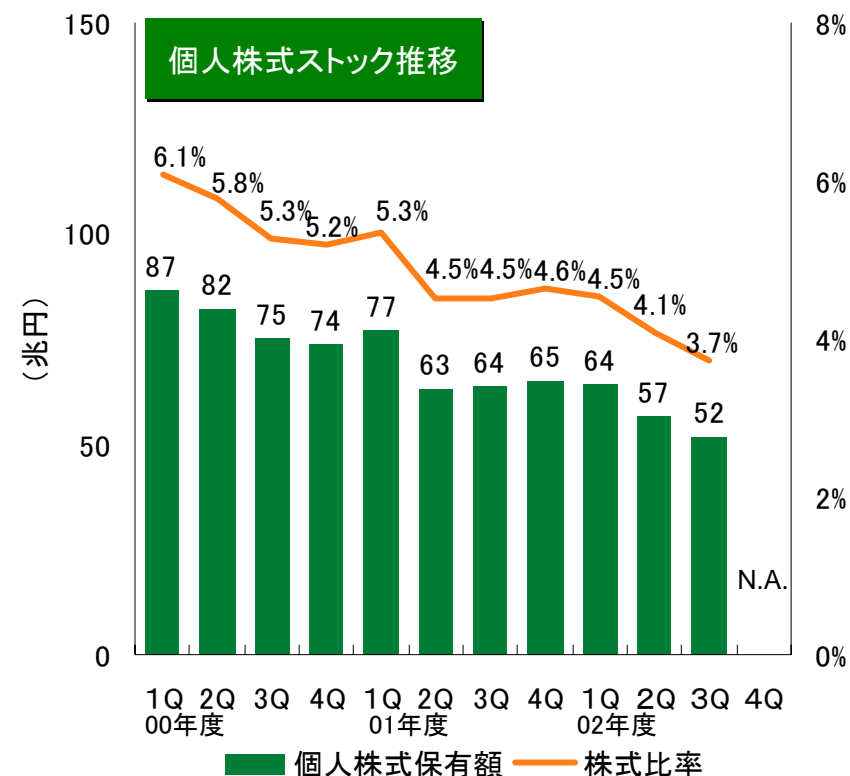
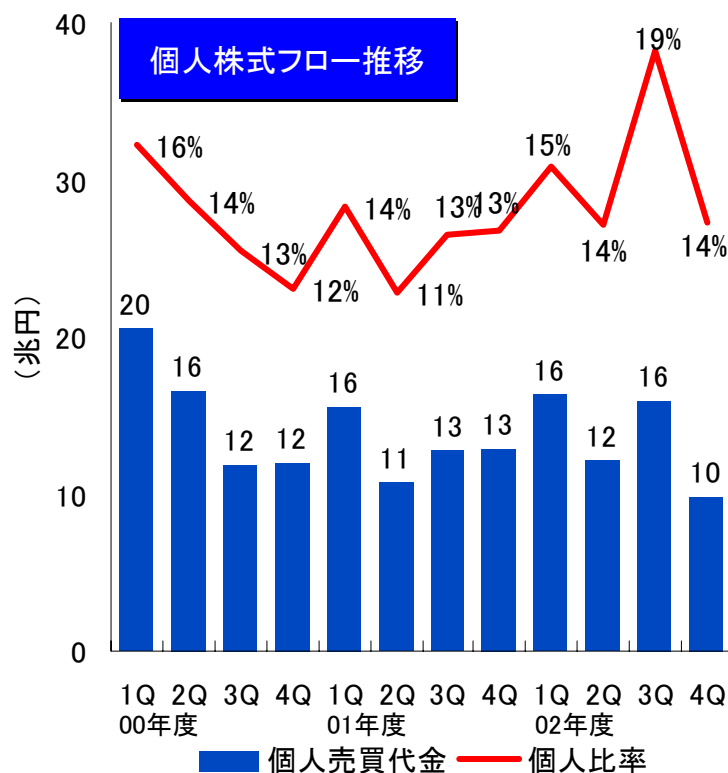
# リテール株式取引市場の状況

## 個人株式委託売買代金は10兆円で直前四半期比39%減少 (02年度4Q)

～個人株式保有額は約50兆円に低下(個人金融資産の約4%)～

- ◆ 個人株式委託売買代金<sup>1</sup>(フロー)
- ◆ 総売買代金に占める個人取引比率

- ◆ 個人株式保有額(ストック)
- ◆ 個人金融資産に占める株式比率



出典：東証統計資料、JASDAQ統計資料、日本銀行「資金循環統計」

注1：三市場(資本の額30億円以上の総合取引参加者)およびJASDAQ市場(総合証券会社等42社)の合計値

# 松井証券の実績 I (対マーケットとの比較)

## 個人株式委託売買代金に占める松井証券シェアは13%で過去最高 (02年度4Q)

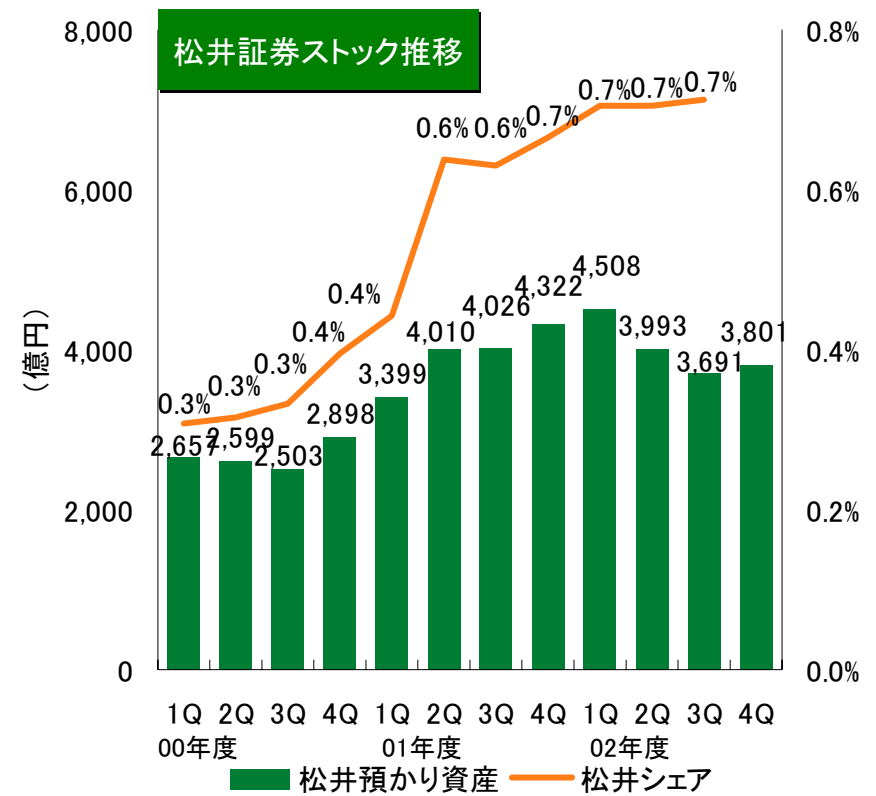
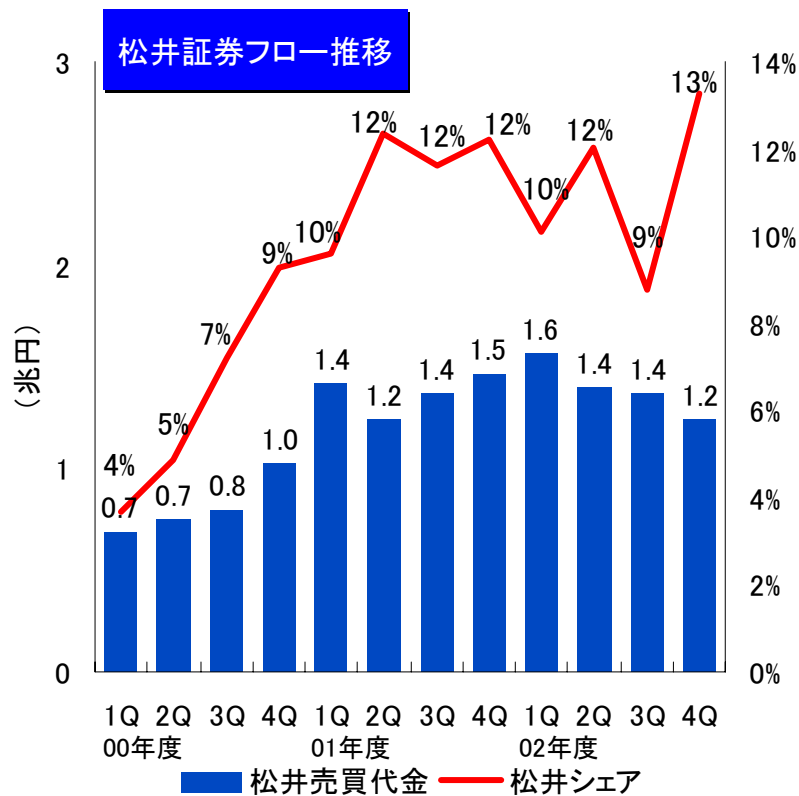
～松井証券預かり資産額は3,801億円(03年3月末)、日本の個人株式保有額の約0.7%相当で推移～

◆ 松井証券株式委託売買代金 (フロー)

◆ 個人株式委託売買代金<sup>1</sup>に占める松井証券シェア

◆ 松井証券預かり資産額 (ストック)

◆ 個人株式保有額に占める松井証券シェア

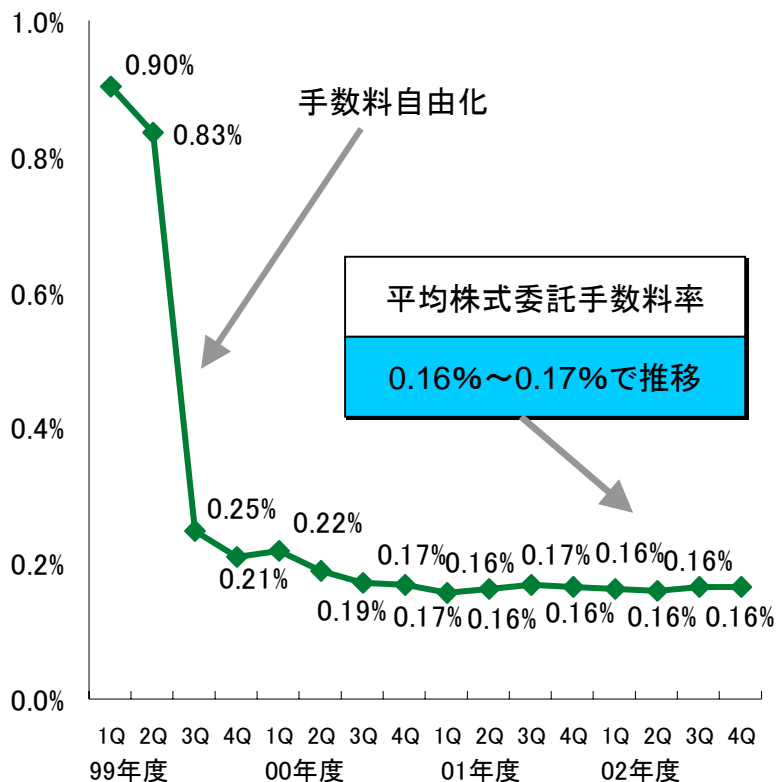


# 松井証券の実績Ⅱ（手数料率と売買回転率）

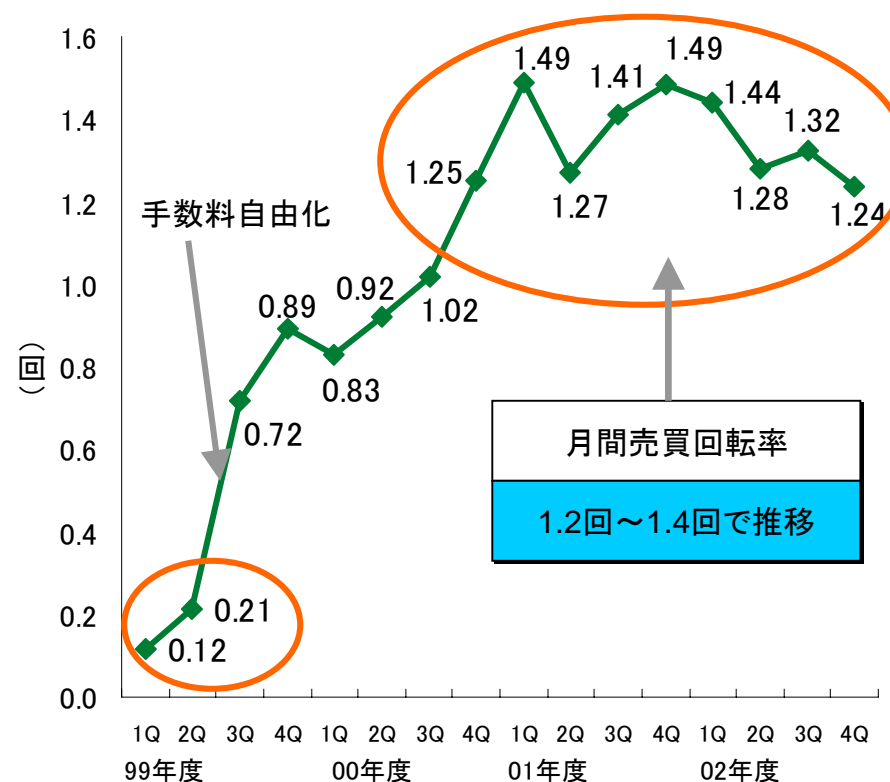
## 松井証券の平均株式委託手数料率は0.16%（02年度4Q）

～松井証券顧客の月間株式売買回転率は1.24回（02年度4Q）～

### ◆ 松井証券の平均株式委託手数料率<sup>1</sup>の推移



### ◆ 松井証券顧客の月間株式売買回転率<sup>2</sup>の推移



注1：平均株式委託手数料率＝株式委託手数料／株式委託売買代金

注2：売買回転率＝月間の平均売買代金／該当期間の平均預り資産（\*1）

（\*1）01年度2Qの預り資産から、当社役員およびその関係者の預り資産額を控除

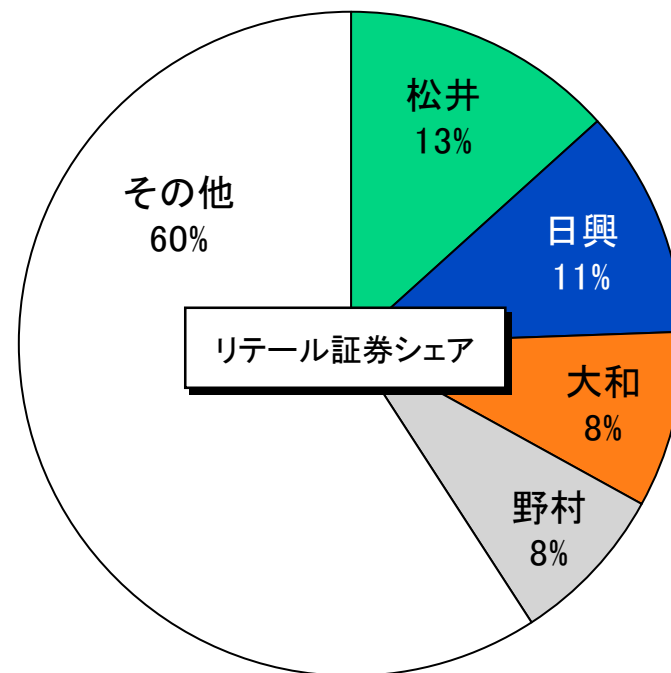
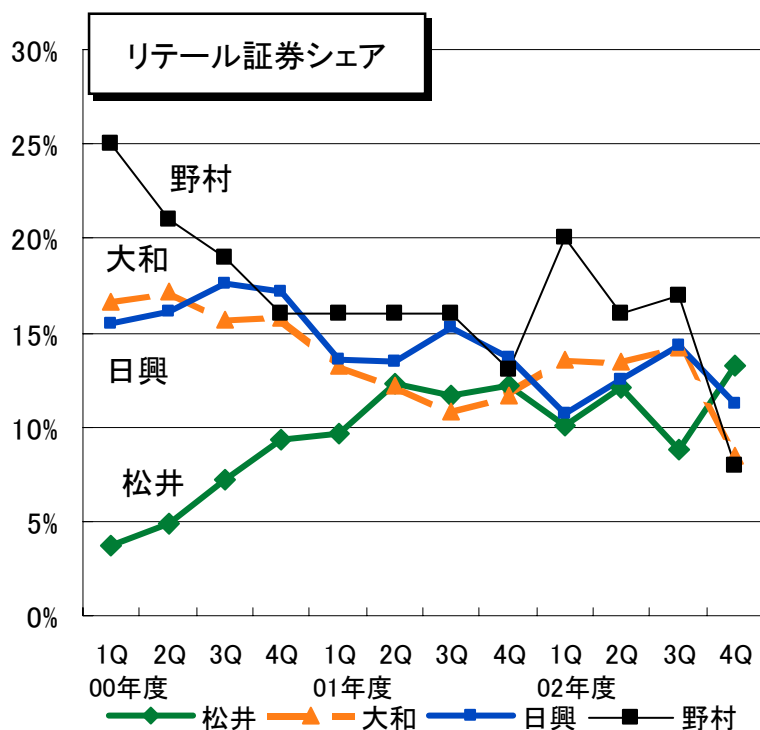
# リテール株式売買代金シェア I (対オンライン証券との比較)

## 松井証券のリテール株式売買代金シェアは大手3社を上回る (02年度4Q)

～外債・変額年金保険等の販売に注力している大手証券は、3社合計で27%のシェアにとどまる～

### ◆ 個人株式委託売買代金<sup>1</sup>シェアの推移

### ◆ 個人株式委託売買代金<sup>1</sup>シェア (02年度4Q)



出典：東証統計資料、各社決算短信、各社決算発表資料より算出(野村は決算発表資料に基づく概算値)

注1：三市場の合計値

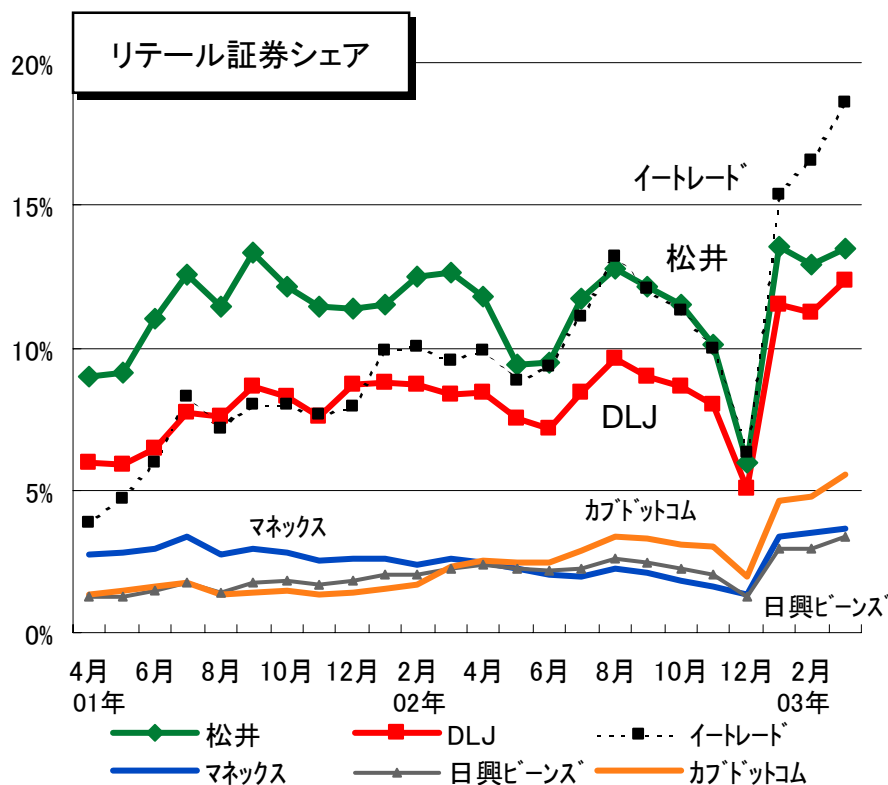
野村(野村証券のリテール部門)、日興(日興コーディアル証券)、大和(大和証券)

# リテール株式売買代金シェアⅡ（対オンライン証券との比較）

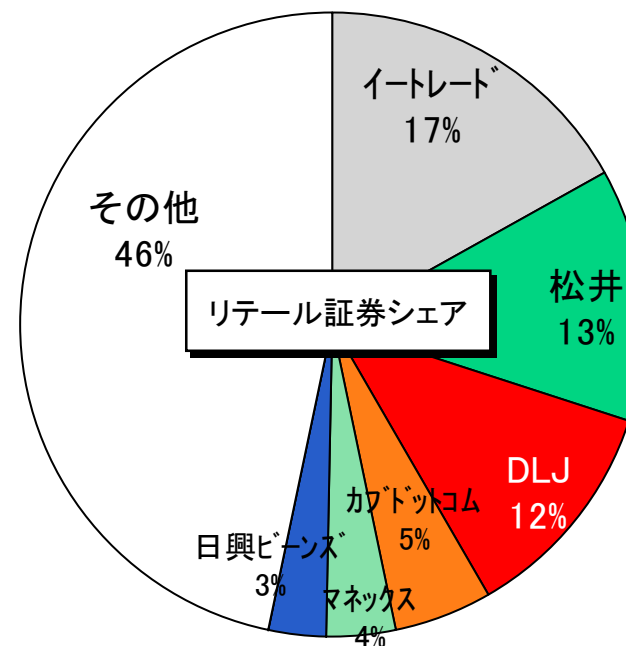
## オンライン証券各社の売買代金シェアは軒並み上昇

～オンライン証券主要6社で個人株式委託売買代金の54%のシェアを占める（02年度4Q）～

### ◆ 個人株式委託売買代金<sup>1</sup>シェアの推移



### ◆ 個人株式委託売買代金<sup>1</sup>シェア（02年度4Q）

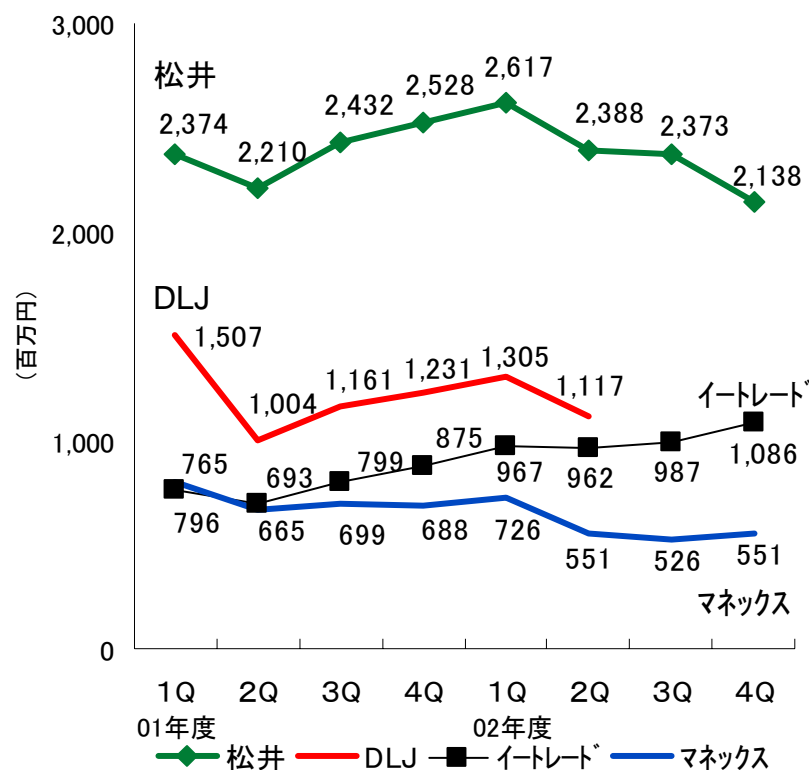


# オンライン証券比較 I (委託手数料とコストカバー率)

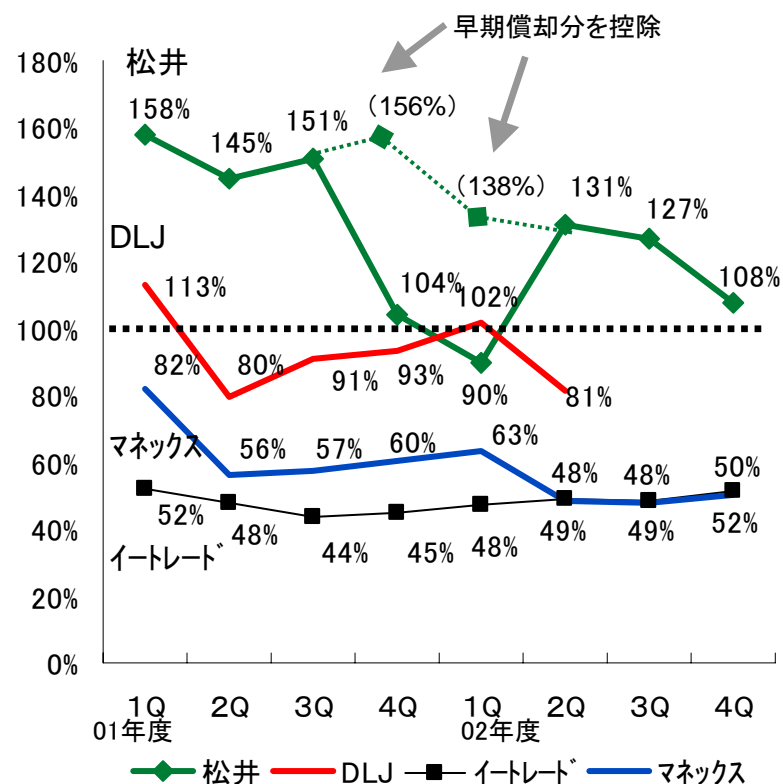
## 松井証券は委託手数料で販管費の1.08倍をカバー (02年度4Q)

～イトレードは52%、マネックスは50%のコストカバー率～

### ◆ 委託手数料<sup>1</sup>の推移



### ◆ 「委託手数料／販管費」<sup>2</sup>の推移



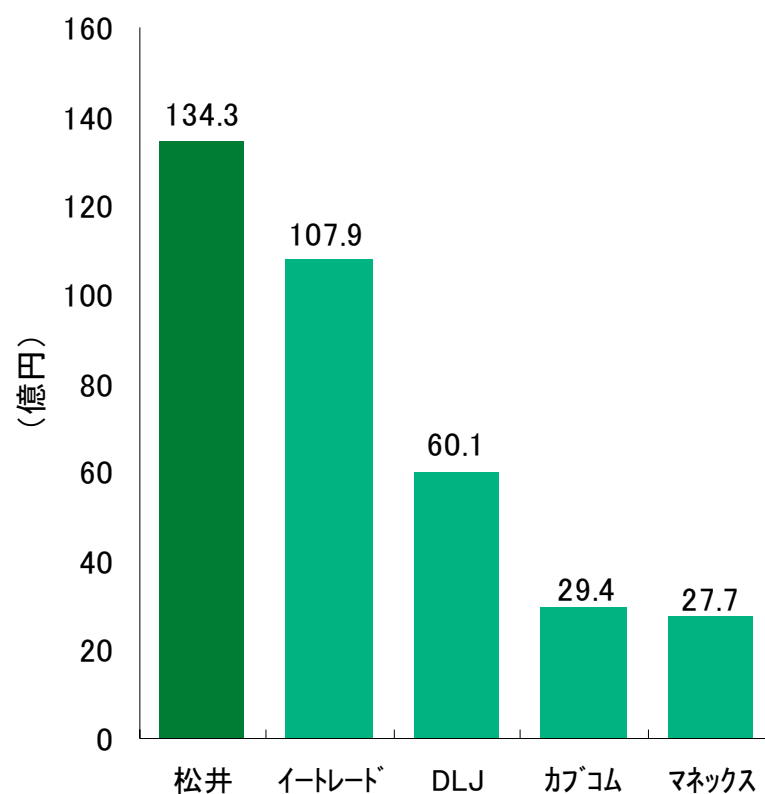


# オンライン証券比較Ⅱ（営業収益と経常利益）

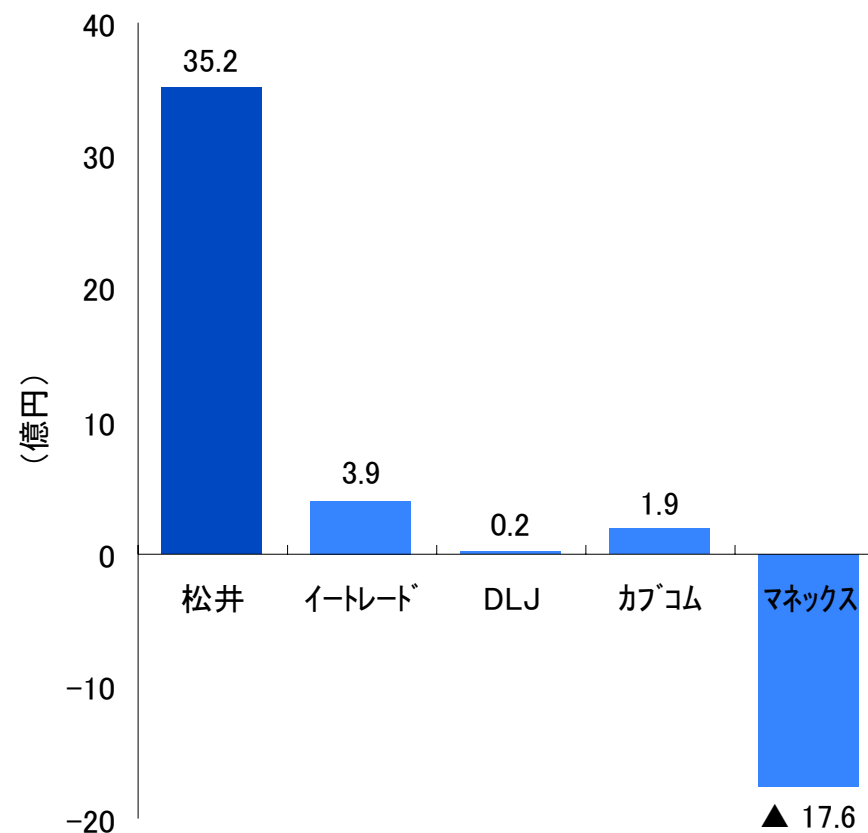
## 松井証券の営業収益・経常利益はともにオンライン証券トップ（02年度）

～売買シェアだけでなく、利益の極大化に向けた事業展開を行っていく方針～

### ◆ 営業収益の比較（02年度）



### ◆ 経常利益の比較（02年度）



# リテール信用取引

---

Part 2

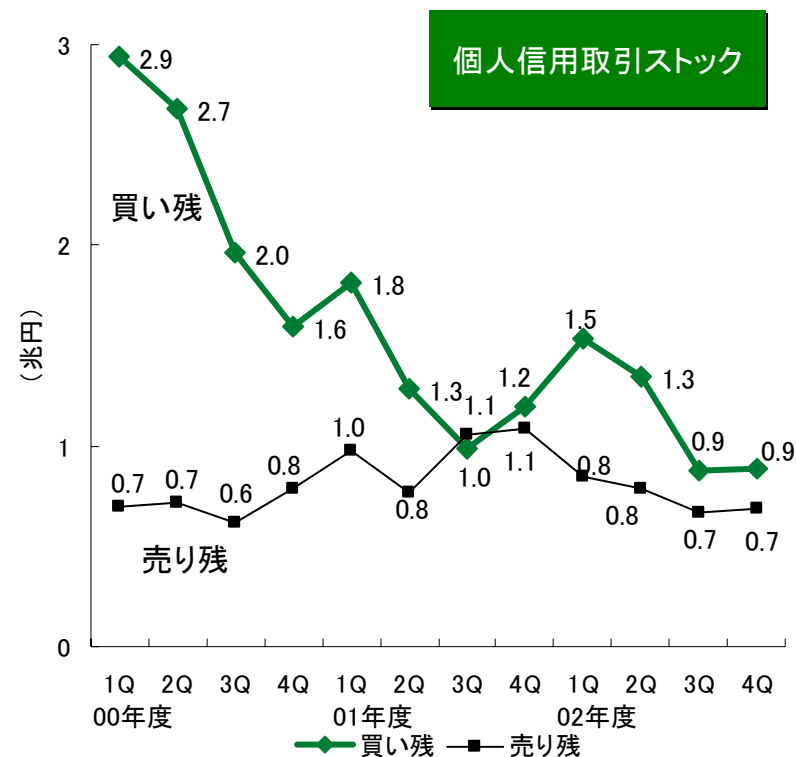
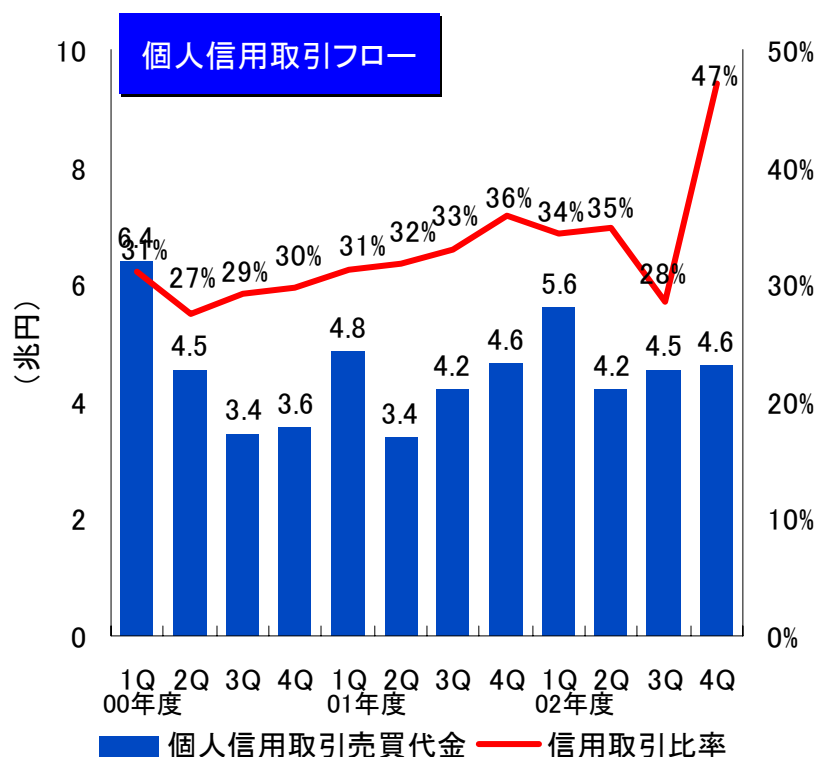
# リテール信用取引市場の状況

## 個人株式委託売買代金に占める信用取引比率は47% (02年度4Q)

～信用取引残高は、買い残(0.9兆円)、売り残(0.7兆円) (直前四半期末比)～

- ◆ 個人信用取引売買代金<sup>1</sup>
- ◆ 個人株式委託売買代金に占める信用取引比率

- ◆ 信用取引残高<sup>2</sup> (買い残・売り残)



出典：東証統計資料、JASDAQ統計資料

注1：三市場およびJASDAQ市場の合計値

注2：三市場の各四半期の最終公表残高

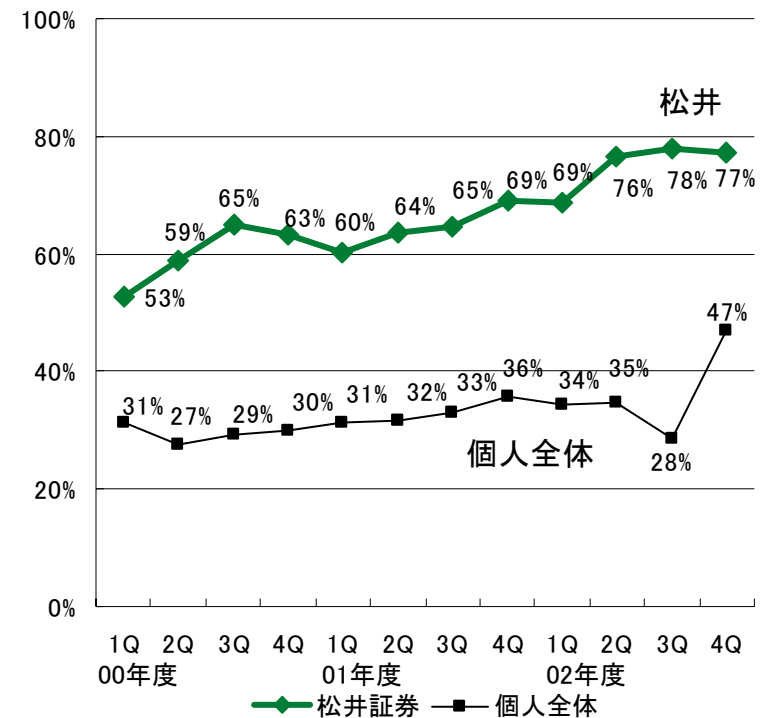
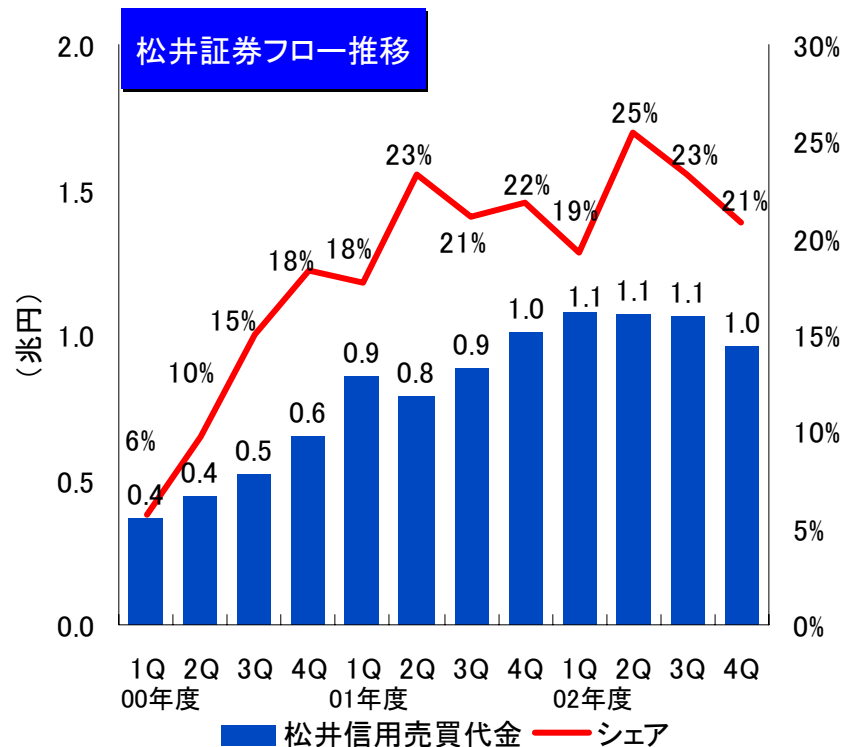
# 松井証券の実績 I (信用取引売買代金の推移)

## 個人信用取引売買代金に占める松井証券シェアは21% (02年度4Q)

～松井証券株式委託売買代金に占める信用取引比率は77% (02年度4Q)～

- ◆ 松井証券信用取引売買代金
- ◆ 個人信用取引<sup>1)</sup>に占める松井証券シェア

- ◆ 株式委託売買代金に占める信用取引比率



出典：東証統計資料、JASDAQ統計資料  
注1：三市場およびJASDAQ市場の合計値

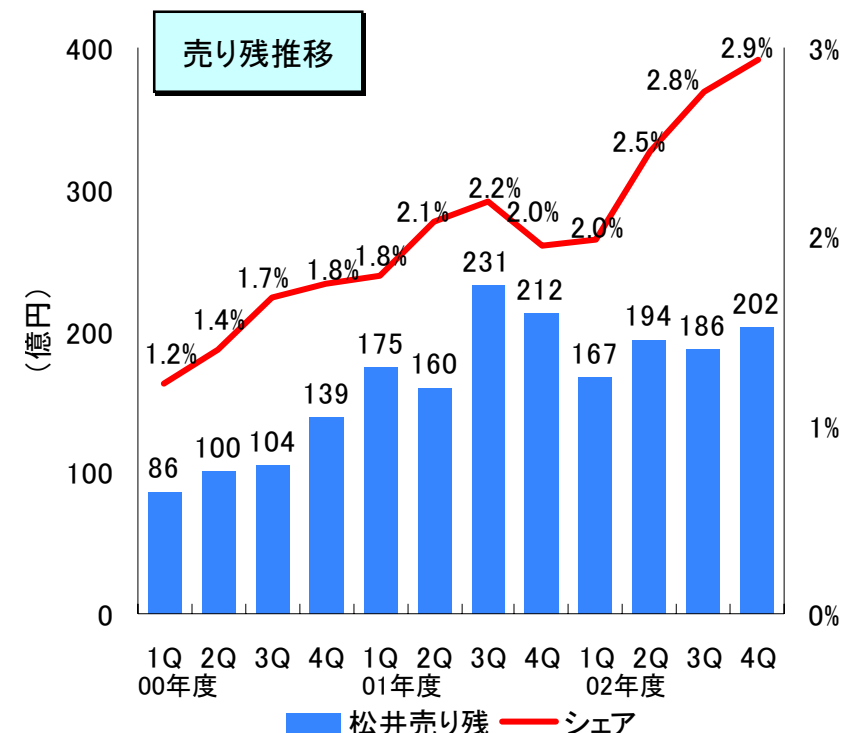
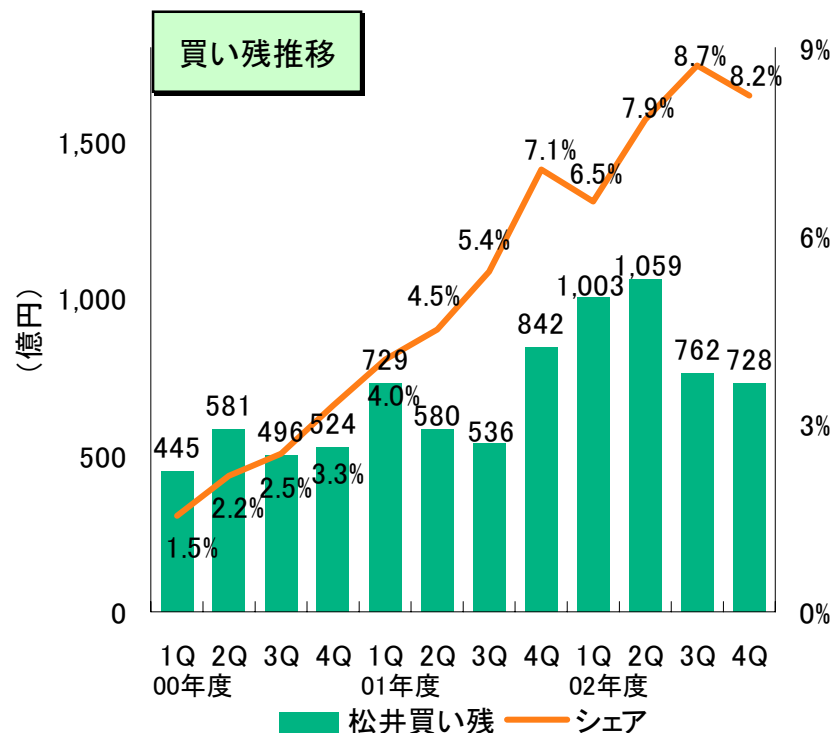
# 松井証券の実績Ⅱ（信用取引残高の推移）

松井証券の信用取引買い残高は728億円、売り残高は202億円（03年3月末）

～松井証券の信用取引売り残高は過去最高のシェア（03年3月末）～

- ◆ 松井証券買い残高<sup>1</sup>
- ◆ 三市場残高<sup>2</sup>に占める松井証券シェア

- ◆ 松井証券売り残高<sup>1</sup>
- ◆ 三市場残高<sup>2</sup>に占める松井証券シェア



出典：東証統計資料

注1：四半期末の残高

注2：三市場の各四半期の最終公表残高

# オンライン取引の状況（02年度下期）

---

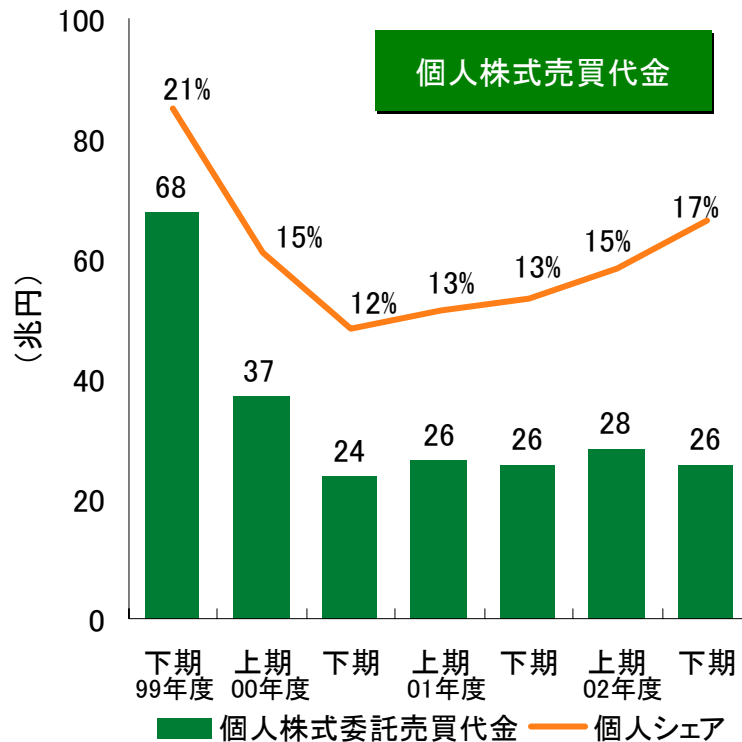
参考

# 個人株式委託取引に占めるオンライン比率

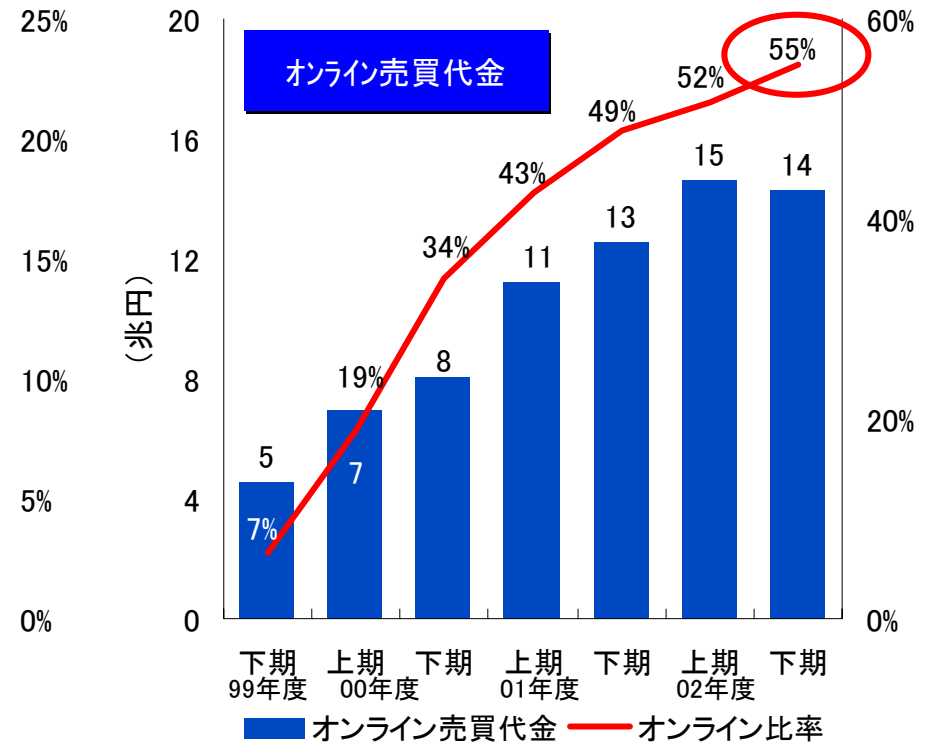
個人株式委託売買代金に占めるオンライン取引比率は55%（02年度下期）

～03年3月（単月）のオンライン比率は80%～

- ◆ 個人株式委託売買代金<sup>1</sup>
- ◆ 総売買代金に占める個人取引比率



- ◆ オンライン売買代金
- ◆ 個人株式委託売買代金<sup>1</sup>に占めるオンライン取引比率



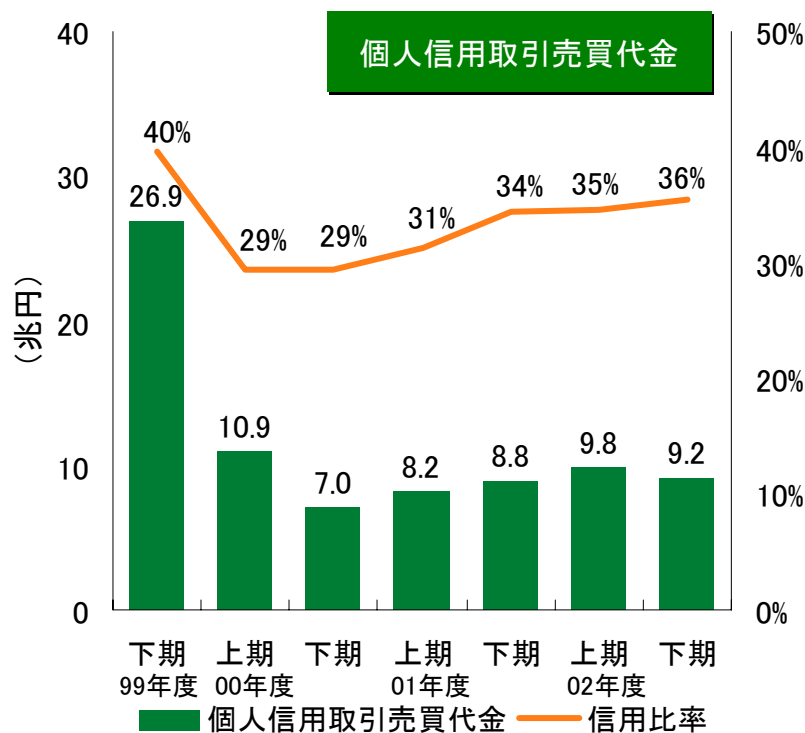
出典：東証統計資料、JASDAQ統計資料、日本証券業協会「インターネットに関する調査結果」  
 注1：三市場（資本の額30億円以上の総合取引参加者）およびJASDAQ市場（総合証券会社等42社）の合計額

# 個人信用取引に占めるオンライン比率

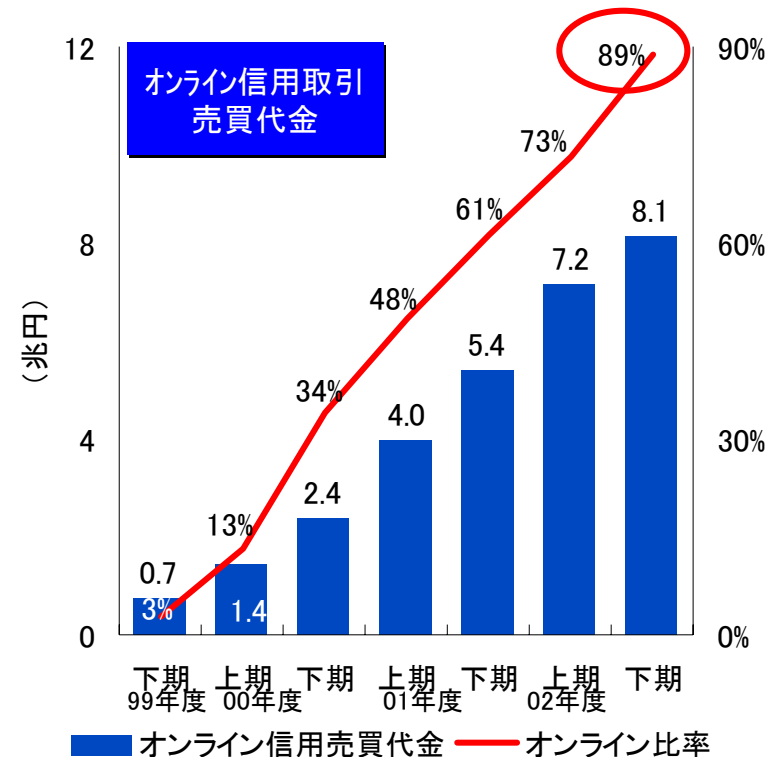
個人信用取引売買代金に占めるオンライン取引比率は89% (02年度下期)

～個人株式委託売買代金に占める信用取引比率は36%～

- ◆ 個人信用取引売買代金<sup>1</sup>
- ◆ 個人売買代金に占める信用取引比率



- ◆ オンライン信用売買代金
- ◆ 個人信用取引売買代金<sup>1</sup>に占めるオンライン取引比率



出典：東証統計資料、JASDAQ統計資料、日本証券業協会「インターネットに関する調査結果」  
注1：三市場およびJASDAQ市場の合計値

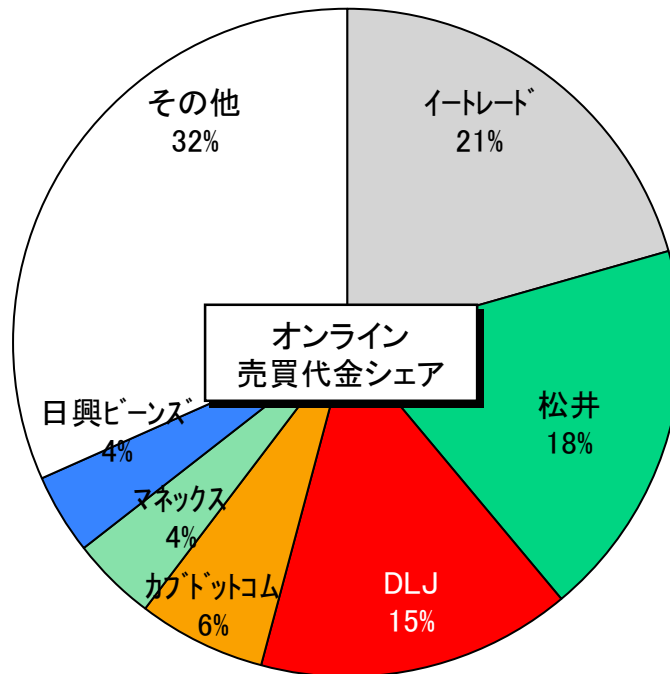


# オンライン株式取引シェア

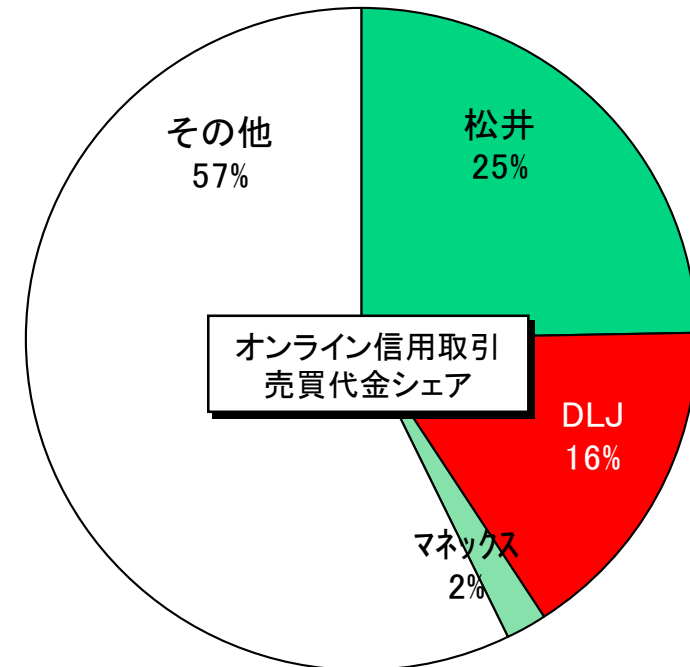
オンライン売買代金に占める松井証券シェアは18% (02年度下期)

～オンライン信用取引売買代金に占める松井証券シェアは25%～

◆ オンライン株式売買代金シェア  
(02年度下期)



◆ オンライン信用取引売買代金シェア  
(02年度下期)



出典：東証統計資料、JASDAQ統計資料、日本証券業協会「インターネットに関する調査結果」、各社決算短信、各社ホームページ

# 今後の展開

---

セクション 3

# 経営目標と経営方針

---

Part 1

# 経営目標と経営方針

個人投資家向け株式ブローキング業務でトップ(No.1リテール証券)を目指す

～コア業務とコア関連業務に経営資源を集中させ、経営目標の早期実現を図る～

経営目標

No.1リテール証券(株式ブローカー)を目指す

経営方針

- ◆ 株式ブローキング業務(コア業務)
- ◆ コア業務の強化につながる業務
- ◆ コア業務との相乗効果が見込める業務

に経営資源を集中

基本戦略

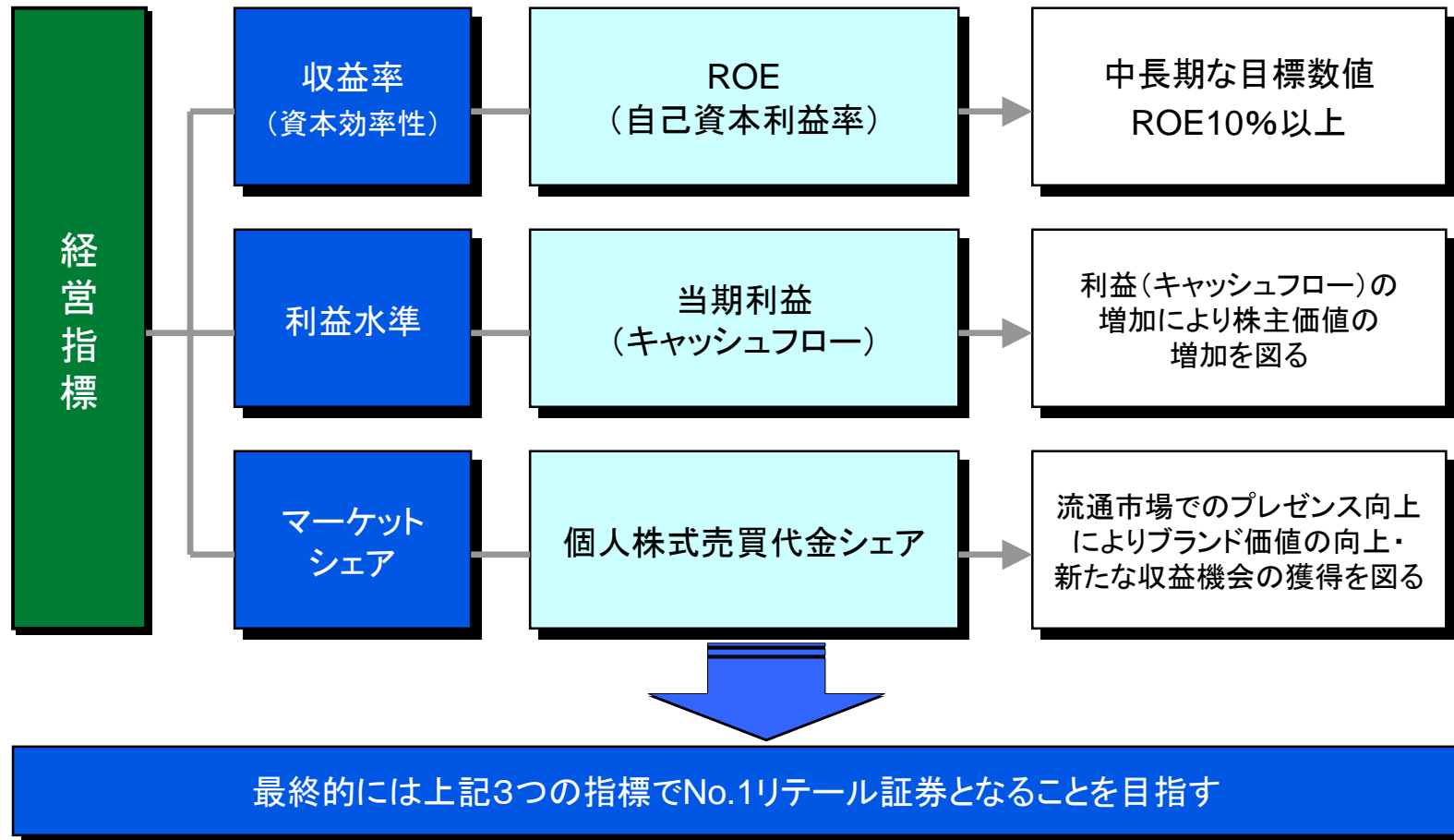
- ① 新商品等の開発力の強化
- ② 低コスト体制の維持
- ③ コンプライアンスの徹底
- ④ リスク管理体制の強化
- ⑤ ブランドの確立・浸透

収益力の向上  
損益分岐点の低位維持  
経営の信頼性の向上  
全社リスクの低減  
ブランド価値の向上

# 経営目標のイメージ

「収益率」・「利益水準」・「マーケットシェア」でリテール証券トップを目指す

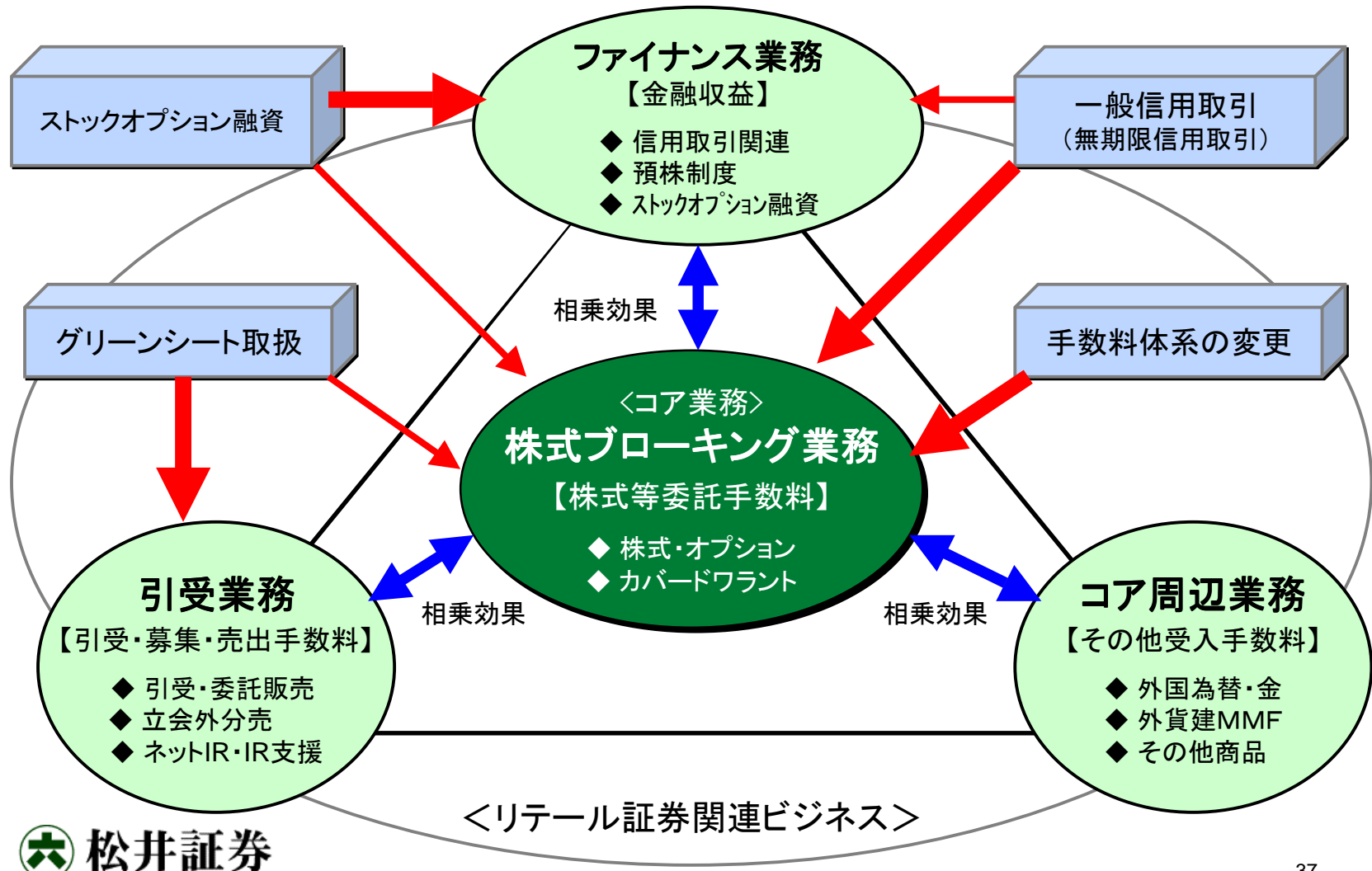
～まずは日本で最も収益率の高いリテール証券会社となることを最優先の目標～



# 経営方針:コア関連ビジネスへの経営資源の集中

株式ブローキング業務をコアとして収益の最大化・安定化・多様化を目指す

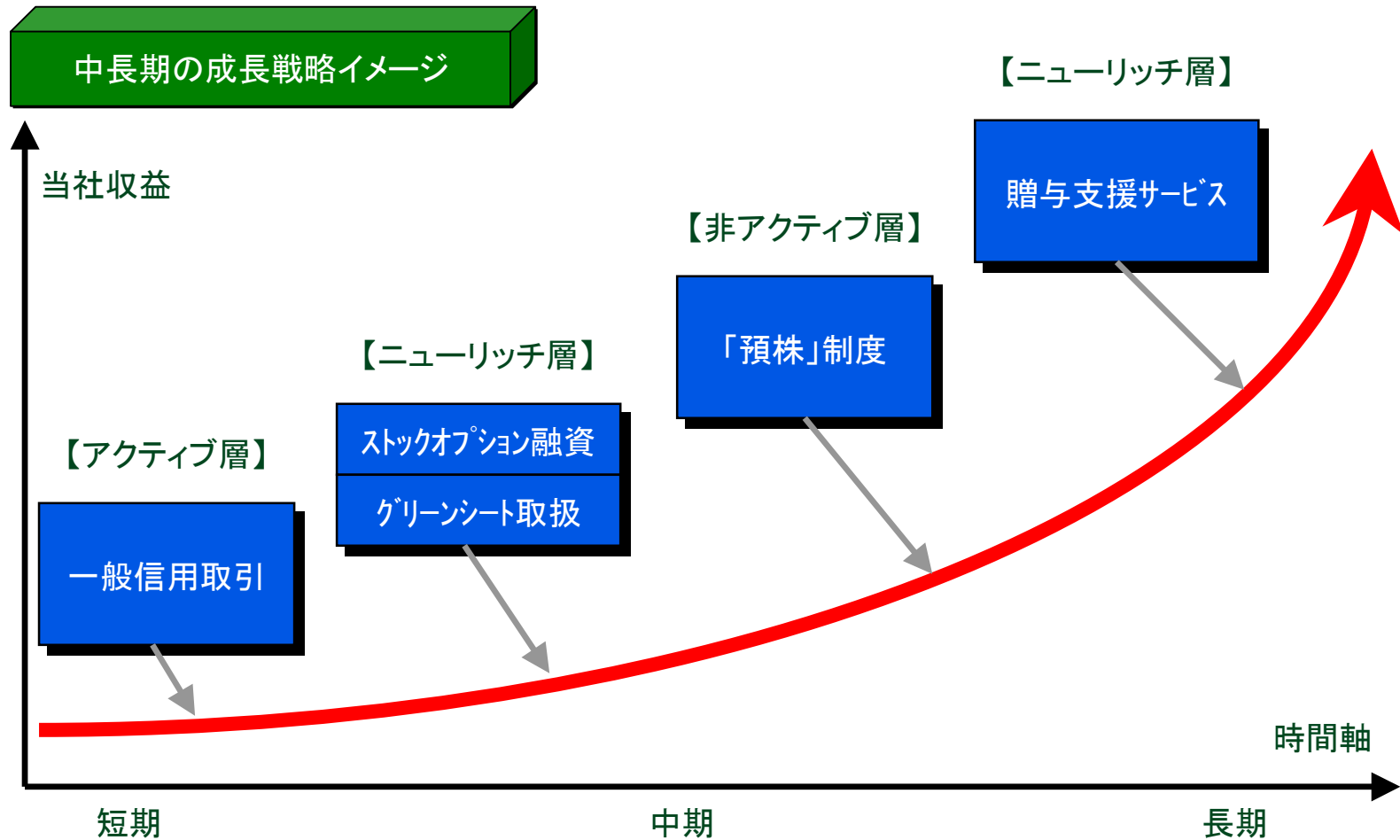
～新サービスの導入により、コア業務およびコア関連業務の更なる強化を図る～



# 中長期の成長戦略イメージ

潜在力の高い投資家層をターゲットにしたサービス展開を他社に先駆けて実施

～新サービスは、当社の中長期的な成長に段階的に貢献してくると想定～



# 新商品・サービス等の展開

---

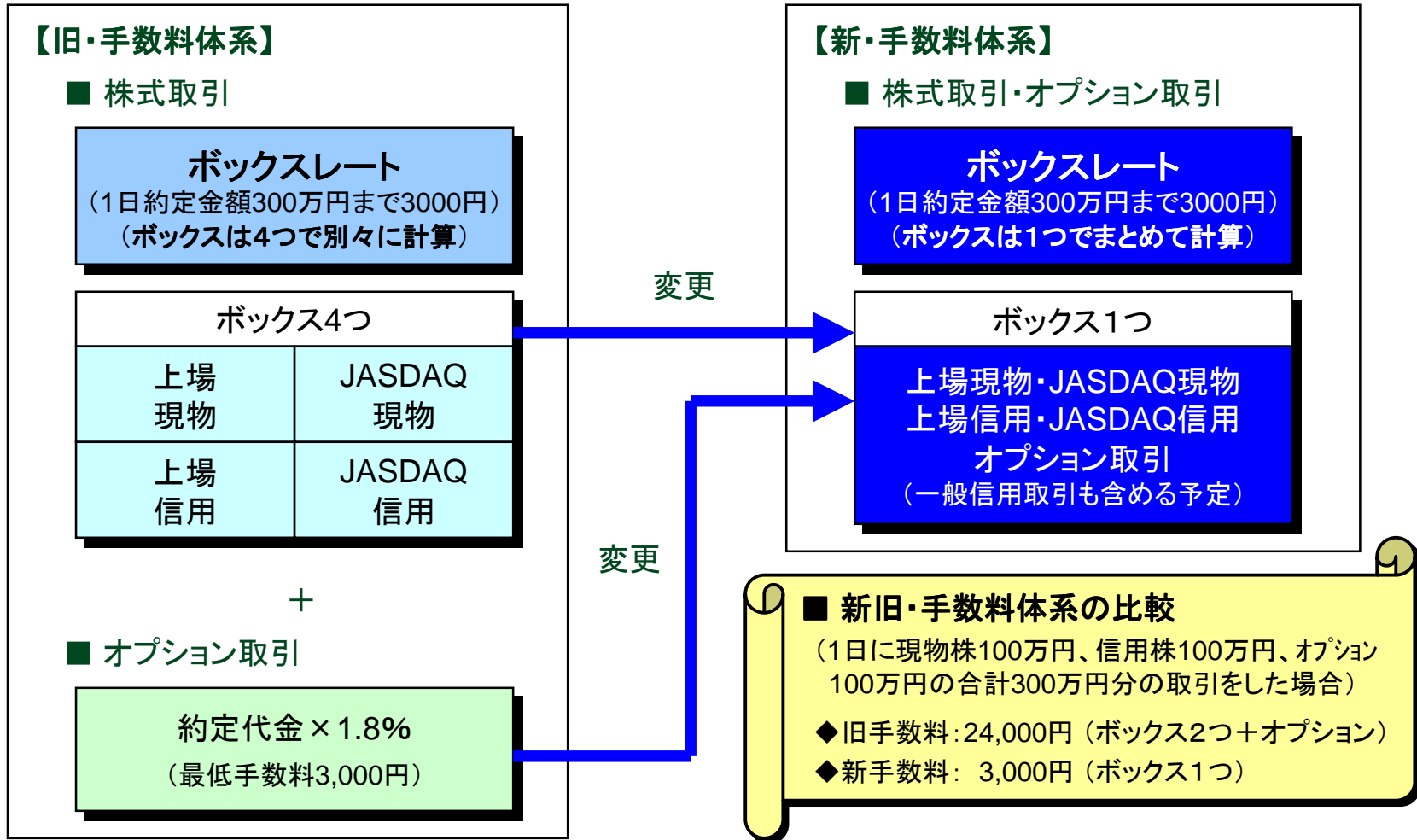
Part 2



# 新手数料体系の導入 (コア業務)

## 株式・オプション取引を一つのボックスに入れた新手数料体系を導入 (03年4月)

～7月から、株式・オプション取引に加え、一般信用取引も含めることで、他社との明確な差別化を図る～



# 一般信用取引の取扱開始（コア業務）

取引期間が“実質無期限”の「一般信用取引」を開始（03年7月予定）

～「期間」・「銘柄数」・「6ヶ月超保有なら返済手数料ゼロ」等の点で、信用取引での差別化を図る～

	制度信用取引	一般信用取引 <sup>1</sup>
期間	6ヶ月	無期限 <sup>2</sup>
取扱銘柄数 <small>（銘柄数は02年12月末の東証のケース）</small>	取引所が指定する 制度信用銘柄  信用銘柄：1,852銘柄	取引所上場の全銘柄 <small>（上場廃止基準該当銘柄を除く） （JASDAQ上場銘柄を除く）</small>  2,077銘柄
上場後 取引開始日	取引所が制度信用 銘柄に指定してから	上場初日から
金利	買方金利：2.1% 売方金利：0.0%	買方金利：2.6%  当面、売りは取扱わない

注1：投資家と証券会社との間で返済期限・金利等を自由に設定できる信用取引

注2：諸経費（金利・手数料・信用取引管理料）は5年毎の清算

(\*) 委託保証金率（31%）、最低維持率（20%）、最低保証金額（30万円）の条件は両者同じ

(\*) 手数料はボックスレート制（前頁参照）、但し、6ヶ月超保有の場合、返済手数料は無料とする

# ストックオプション融資の開始（ファイナンス業務）

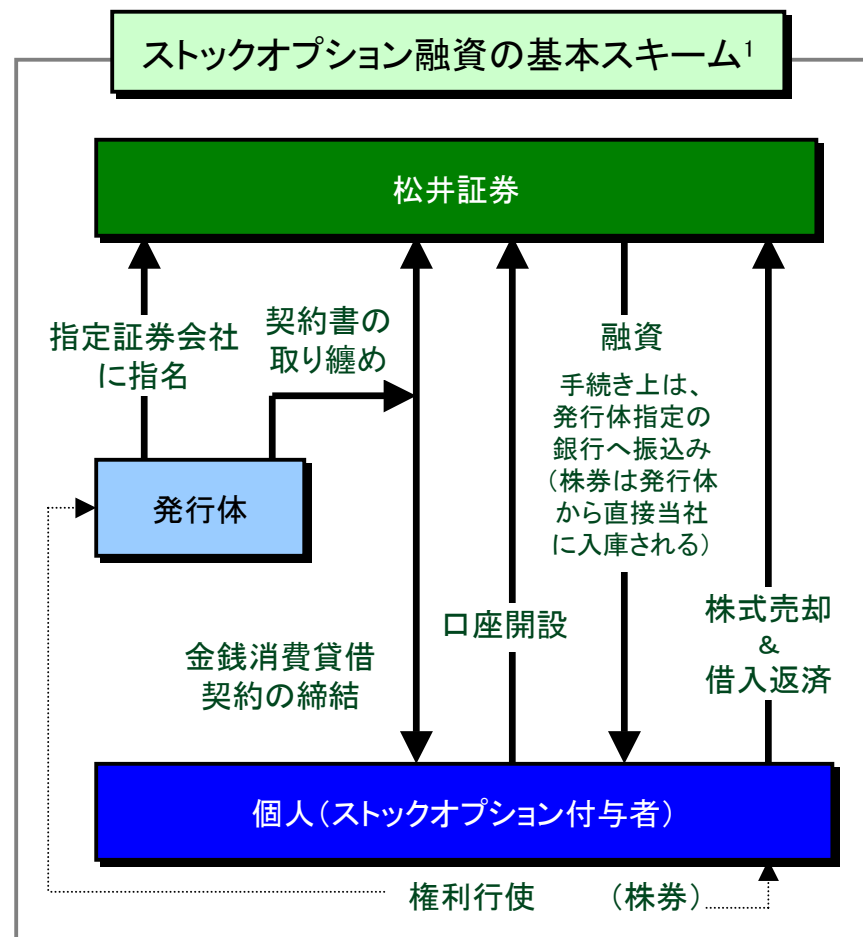
## ストックオプション付与者に権利行使の資金貸付サービスを開始（03年6月予定）

～指定証券会社となることで、潜在力の高いニューリッチ層の包括的な獲得を図る～

### ストックオプション融資の基本条件<sup>1</sup>

貸付金利	年利3.8%
貸付期間	原則、1年間 (繰上げ返済の場合もある)
対象者	ストックオプション付与者 <sup>2</sup> (融資実行時に当該企業に在籍)
融資条件	インザマネーの状態 <sup>3</sup>
融資限度額	年間1,200万円 (税制適格の限度額と同額)
返済方法 (原則)	株式売却代金で返済 (評価額が融資額の一定水準を下回った場合、繰上げ返済)

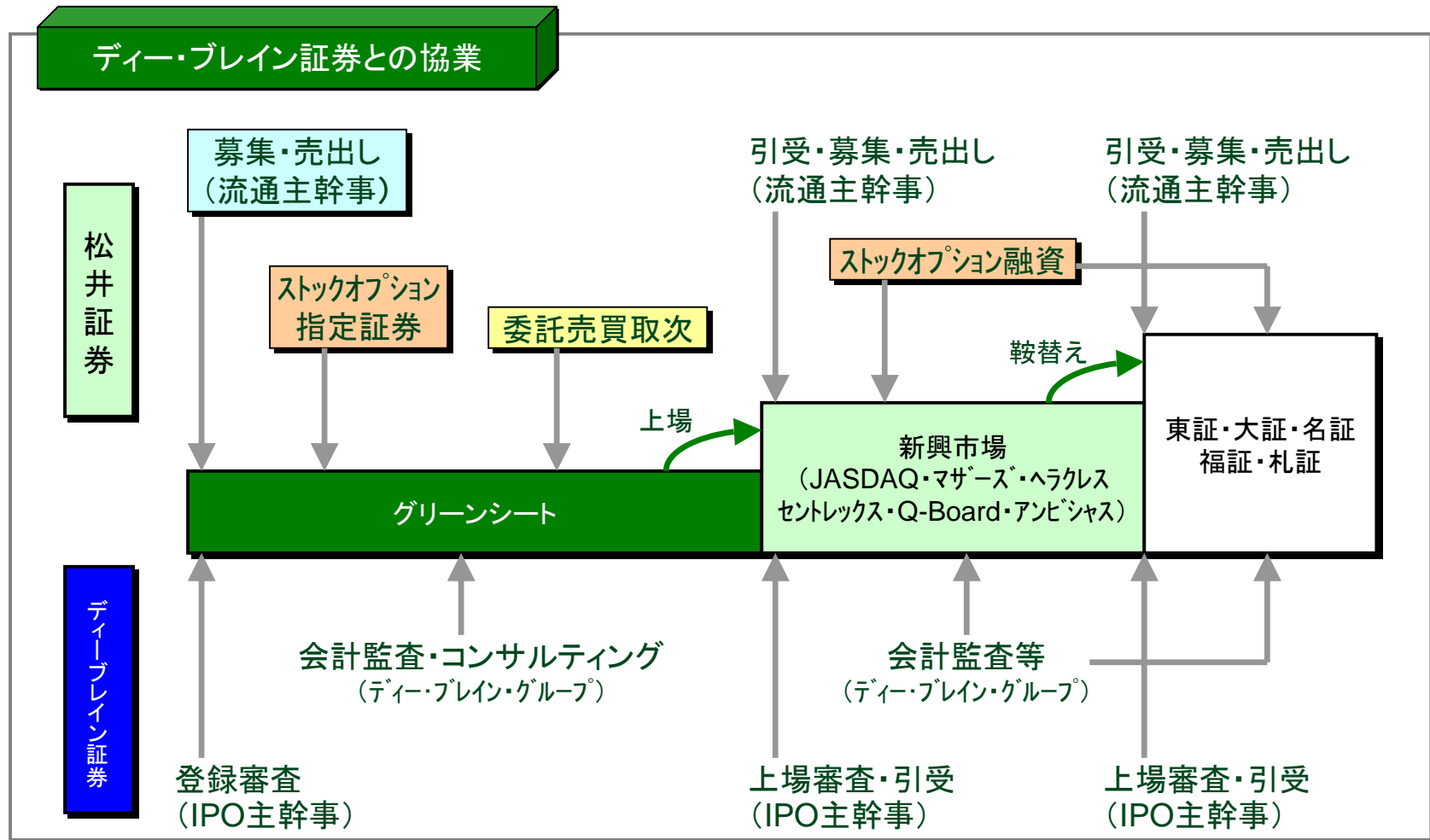
### ストックオプション融資の基本スキーム<sup>1</sup>



# グリーンシート銘柄の取扱開始（引受業務）

上場銘柄に加え、グリーンシート銘柄の取扱を開始（03年6月予定）

～グリーンシート登録から上場までの一連のビジネスについてディー・ブレイン証券と協力関係を構築～



# 新サービスの一覧

開始日	サービス内容
2002年 4月	ネットストック口座基本料の無料化
	NetFxでの「ユーロ」「豪ドル」の取扱開始
5月	ネットストックリニューアル
	各種報告書の電子交付開始
	引受業務の開始
6月	増担保銘柄の取扱開始
	NetFxで4通貨(NZドル・英ポンド等)・NetGold(貴金属保証金取引)の取扱開始
7月	信用取引の委託保証金率(31%へ)・最低維持率(20%へ)の引下げ
	郵貯インターネットホームサービスからの即時振込入金サービス開始
8月	出金手数料の一部無料化
9月	ジャパネット銀行からの即時振込入金サービス開始
	「マーケット・ファイヤー」・「マーケット・ファイヤーX」の取扱開始
	「預株」制度の開始
10月	外貨建MMFの取扱開始
	未成年口座の受付開始
	カバードワラント「eワラント」の取扱開始
11月	贈与支援サービスの開始
	リアルタイム維持率表示の開始
12月	福岡証券取引所単独上場銘柄の取扱開始
	UFJ銀行・東京三菱銀行・三井住友銀行からの即時振込入金サービス開始
2003年 1月	みずほ銀行からの即時振込入金サービス開始
	ネットストック口座からNetFx・NetGold口座へのリアルタイム振替開始
2月	日本証券代行での窓口入庫・口座開設サービスの開始
	「預株」制度の最低申込単位の引下げ・取扱手数料の無料化
	中央三井信託銀行と遺言サービスで提携
3月	だいがう証券ビジネスでの窓口入庫・口座開設サービスの開始
4月	株式・オプション取引を一つのボックスに入れた新手数料体系(ボックスレート)を導入
5月(予定)	NetFx・NetGoldで米ドルの最低取引単位を1万ドルへ引下げ
6月(予定)	ストックオプション融資サービスの開始
	グリーンシート銘柄の取扱開始
7月(予定)	一般信用取引の取扱開始

新システム  
へ移行

# 各商品・サービスの実績

---

Part 3

# 「預株」制度の実績

「預株」制度同意済口座数は3,389口座（03年3月末）

～03年2月の取扱手数料・最低申込単位の変更により、口座数・注文残高等が大幅に増加～

## ◆「預株」制度の実績

	02年12月	03年2月21日	03年3月
同意済口座数 <sup>1</sup>	1,820口座		3,389口座
注文口座数	532口座(①)		1,798口座(①)
約定口座数	226口座(②)		1,042口座(②)
約定率	42%(②/①)		58%(②/①)
月末注文残高 <sup>1</sup> (預かり資産に類似)	45億円		147億円
約定金額	58億円		103億円
約定件数	1,427件		7,108件
顧客受取預株料	59万円		264万円
平均利回り <sup>2</sup>	年0.17%		年0.25%

取扱手数料の無料化  
 最低申込単位の引下げ (10→1単位)

# 引受業務の実績

引受件数19件(引受額6.9億円)、委託販売件数37件(取扱額10億円) (02年度)

～ディー・ブレイン証券等、他社との提携により、他社のノウハウ・ネットワークを活用した引受業務も展開～  
→03年2月に福証Q-Boardに上場したビジネス・ワン(以前はグリーンシート登録)の引受に参加

## ◆ 引受実績 (02年度)

	(件数)	(金額)
第1Q	3件	191百万円
第2Q	5件	57百万円
第3Q	3件	189百万円
第4Q	8件	254百万円
<b>TOTAL</b>	<b>19件</b>	<b>693百万円</b>

## ◆ 取扱銘柄 (02年度4Q)

- 幻冬舎(JQ)
- アドミラルシステム(東M)
- エリアクエスト(東M)
- ビジネス・ワン(福Q)
- 日本駐車場開発(JQ)
- シーエヌエー(東M)
- ウィーヴ(JQ)
- ドクターシーラボ(JQ)

## ◆ 委託販売実績 (02年度)

	(件数)	(金額)
第1Q	9件	907百万円
第2Q	10件	41百万円
第3Q	11件	15百万円
第4Q	7件	29百万円
<b>TOTAL</b>	<b>37件</b>	<b>995百万円</b>

## ◆ 取扱銘柄 (02年度4Q)

- ワイ・アリーバ(東M)
- シンクレイヤ(JQ)
- トシン電機(JQ)
- 三光マーケティングフーズ(JQ)
- 東京エレクトロデバイス(東2)
- 遠藤製作所(JQ)
- コア(東2)



# 金融商品事業(外国為替等)の実績

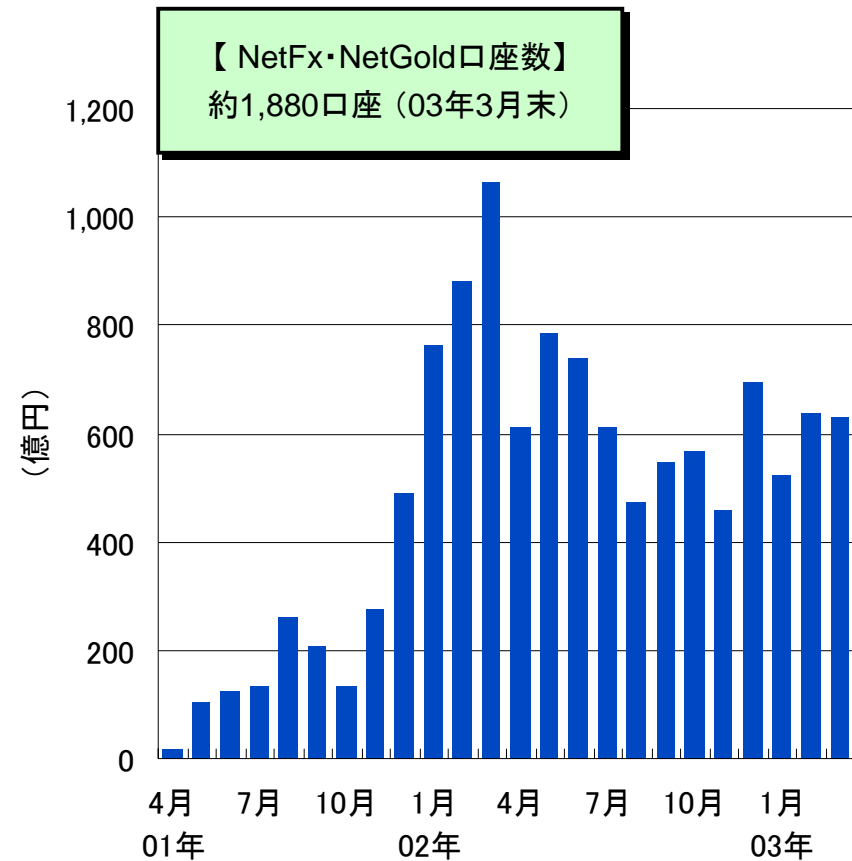
外国為替及び貴金属保証金取引売買代金は月間平均607億円(02年度)

～02年4月から「ユーロ」「豪ドル」、6月から「4通貨+1貴金属」の取扱を開始しサービス拡充へ～

24時間取引できる外国為替及び貴金属  
保証金取引「NetFx・NetGold」の概要

手数料率	0.04%
最低保証金額	約45万円
レバレッジ効果	約4倍～約30倍
取引時間	24時間
取扱通貨・ 貴金属	米ドル・ユーロ 豪ドル・英ポンド スイスフラン・カナダドル NZドル・ゴールド

## ◆「NetFx・NetGold」の売買代金の推移



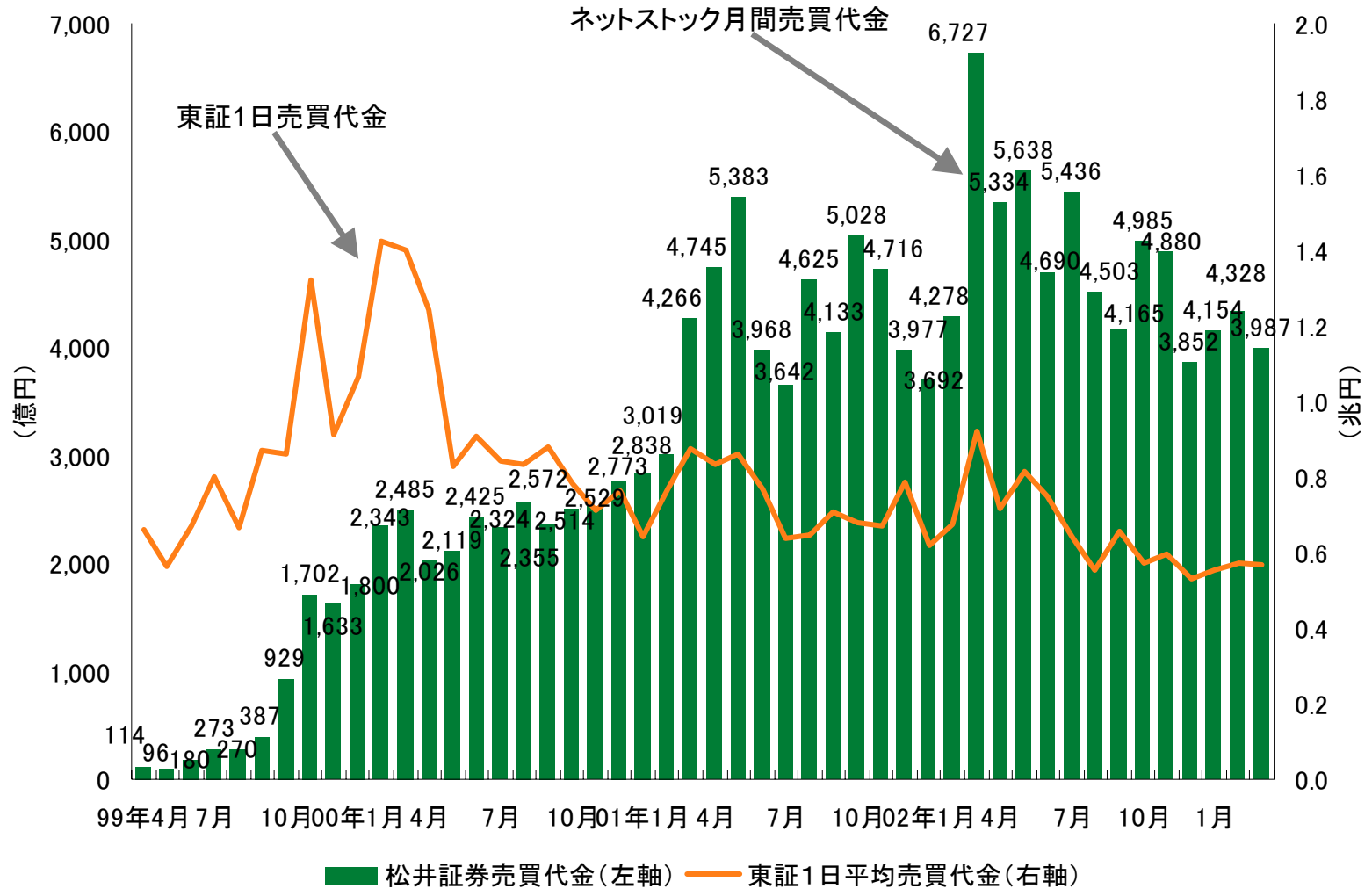
# 各種データ

---

セクション 4

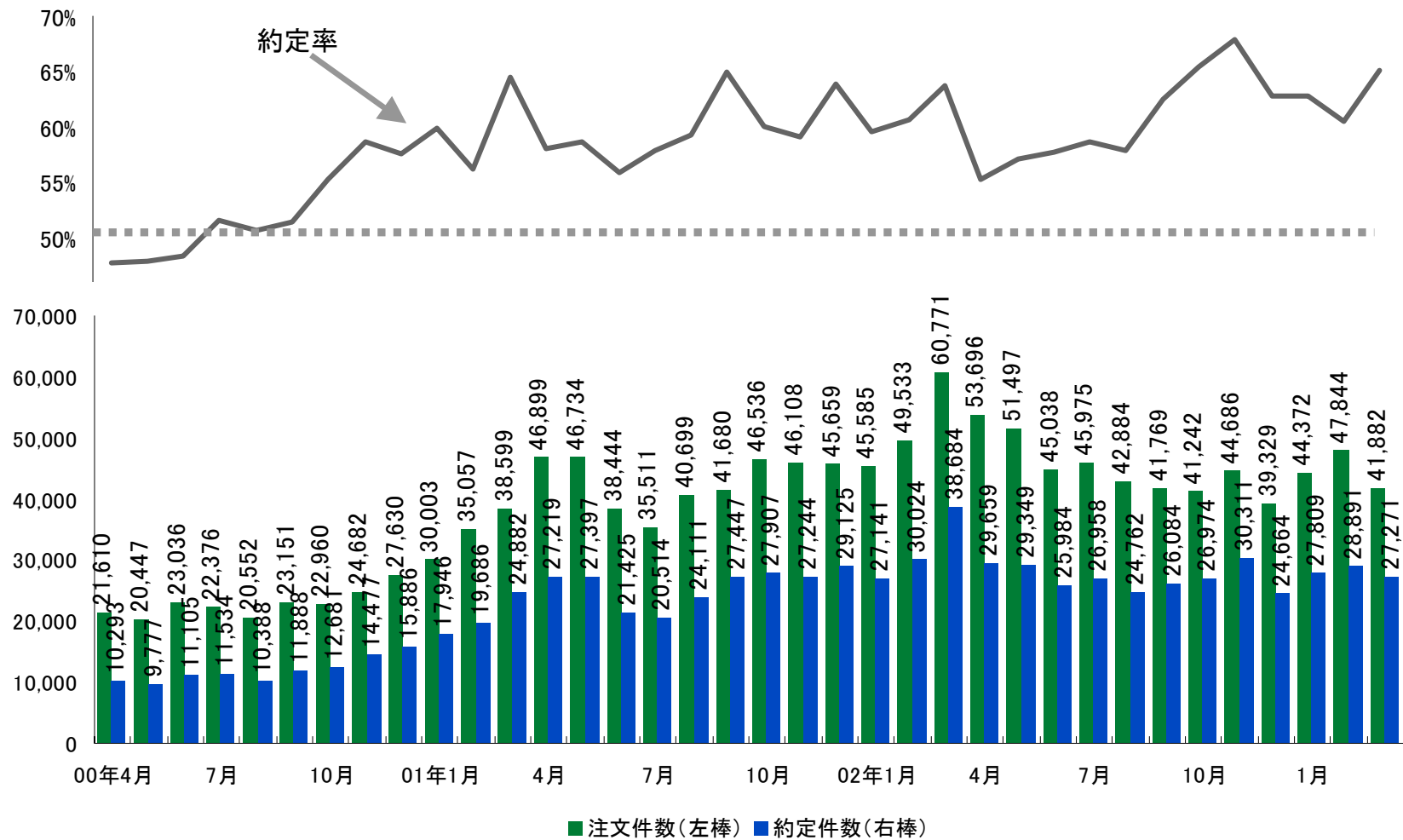
# 売買代金の推移

## ◆ ネットストック売買代金(月間)



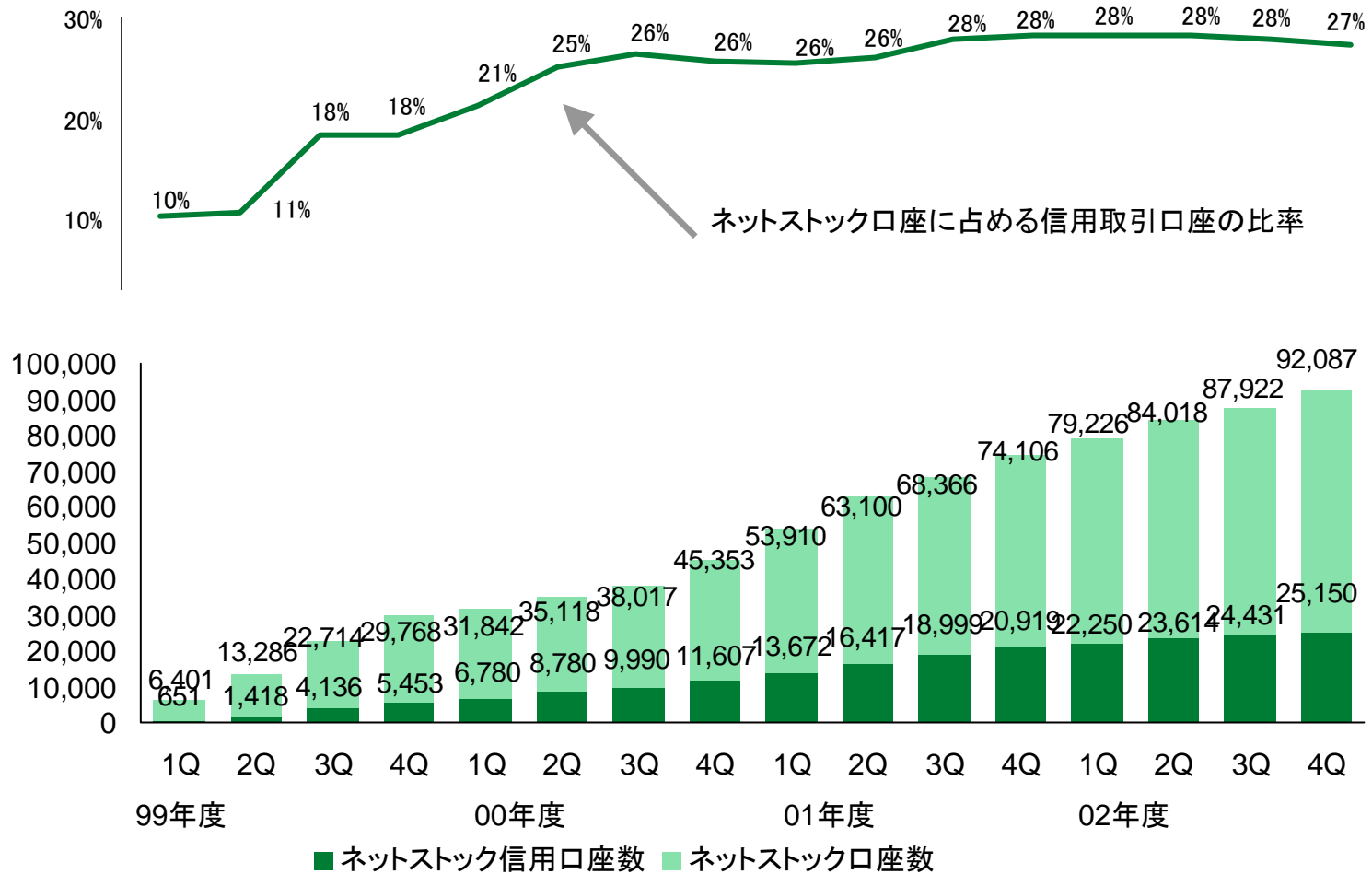
# 注文件数・約定件数の推移

## ◆ 注文件数・約定件数(1日平均)



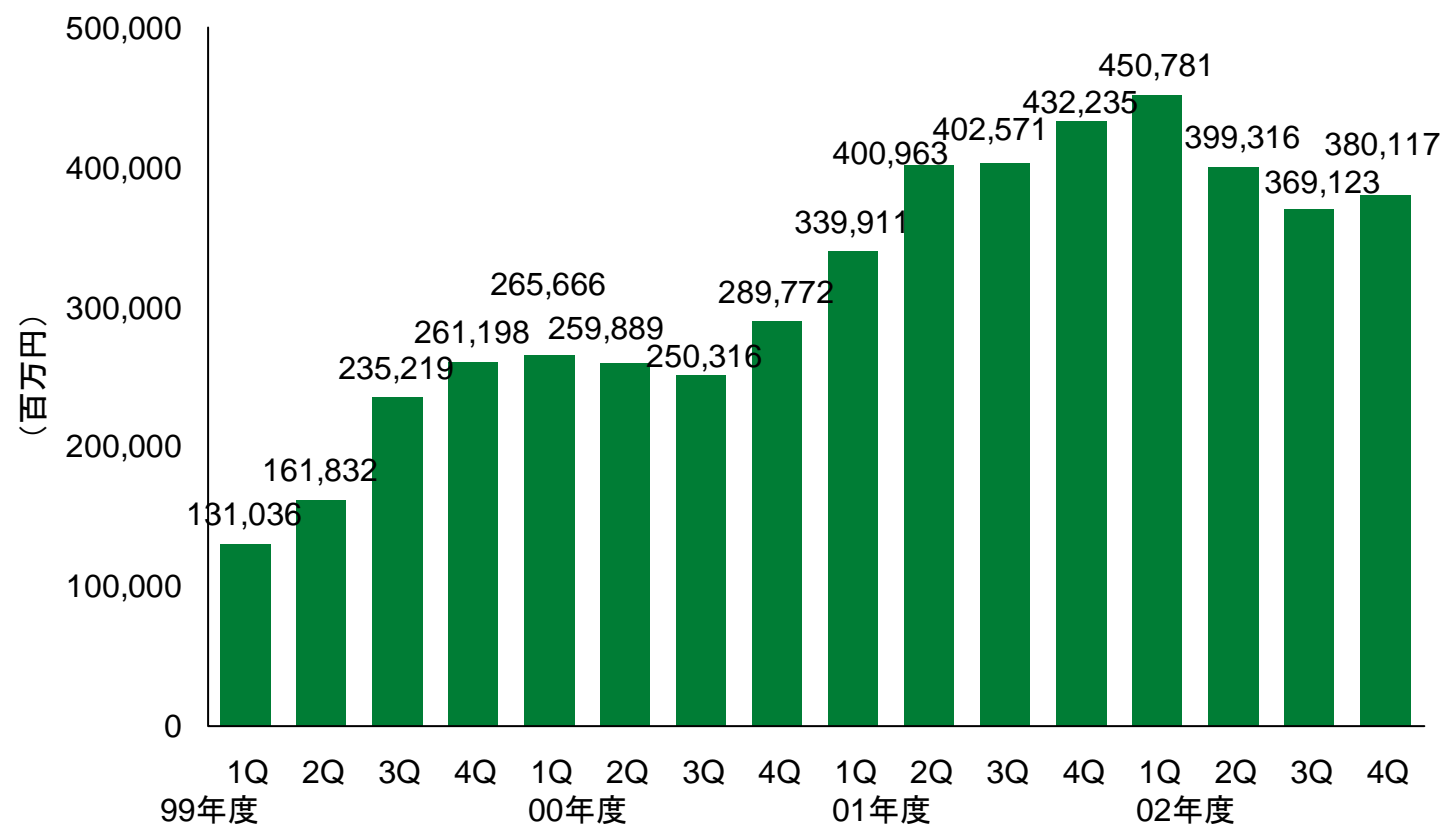
# ネットストック口座数の推移

## ◆ ネットストック口座数(四半期)



# 預かり資産の推移

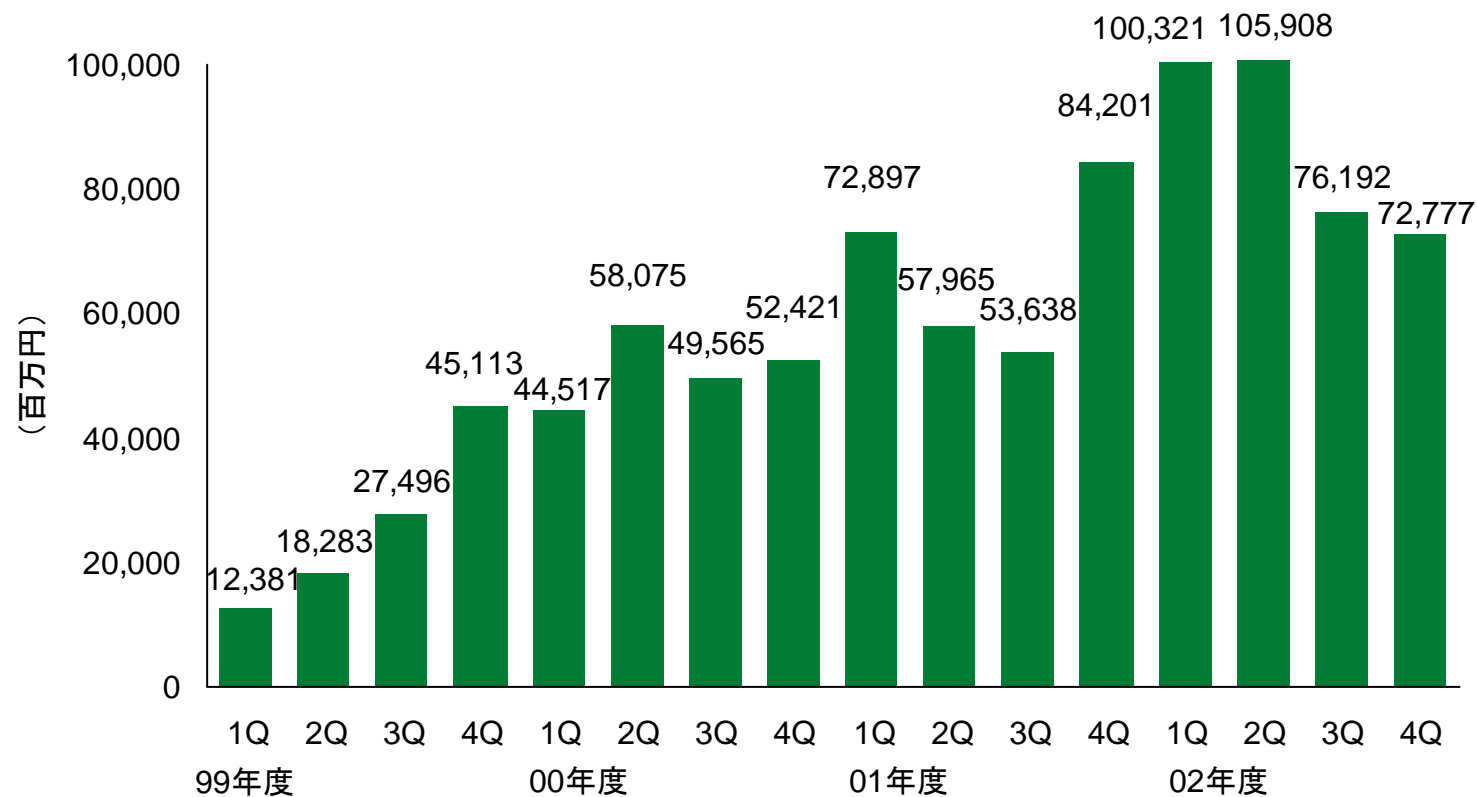
## ◆ 預かり資産残高(四半期)



注: 預かり資産残高は各四半期末の数値

# 信用取引貸付金の推移

## ◆ 信用取引貸付金(四半期)



注: 信用取引貸付金残高は各四半期末の数値



 **松井証券**

**ネットストック**

東証1部：8628

<http://www.matsui.co.jp>